

# 令和元年度第1回小金井市青少年問題協議会専門委員会

<次 第>

日 時 令和元年8月21日(水) 午前10時

会 場 小金井市役所本町暫定庁舎 本町暫定第2会議室

## 1 開 会

## 2 議 題

- (1) 委員長の選出について
- (2) 副委員長の選出について
- (3) アンケートについて

## 3 閉 会

### 配布物

(事前送付)

資料5 小金井市子どもアンケート(案)

資料6 子どもアンケートに係る委員意見等

資料7 各種調査票(子どもの生活に関するアンケート(小金井市)／小金井市子ども・子育て支援に関するニーズ調査／川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査／子どもの権利アンケート(松本市))

(当日配布)

- ・次第
- ・青少年問題協議会専門委員会 委員名簿
- ・資料8 令和元年度青少年問題協議会スケジュール(案)

小金井市 <sup>こ</sup>子どもアンケート (小金井市青 <sup>こがねいしせいしょうねんもんだいきょうぎかい</sup>少年問題協議会) 素案

下の設問の答えを選んで、  
マークを塗りつぶしてください。

小 小 小 中 中 中 男 女  
4 5 6 1 2 3 9 10  
① ② ③ ④ ⑤ ⑥

小・中学生用

設問No.

① ② ③ ④

1	あなたには、のんびりする時間がありますか？ ① たくさんある ② 少しある ③ あまりない ④ ほとんどない
2	あなたは、のんびりする時間がほしいですか？ ① もっとほしい ② 少しほしい ③今のままでよい ④ わからない
3	あなたが、ほっとして安心できる場所はどこですか？(いくつでも) ① 自分の家、部屋 ② 学校 ③ 児童館・図書館・公園 ④ その他 ( )
4	あなたは、学校に行きたくないと思ったことがありますか？ ① よくある ② ときどきある ③ ほとんどない ④ まったくない
5	「よくある」「ときどきある」と答えた人にお聞きします。原因はなんですか？ ① 友達とのこと ② 先生とのこと ③ 勉強のこと ④ その他 ( )
6	あなたは自分のことが好きですか？ ① 好き ② 好きではない ③ どちらともいえない ④ わからない
7	あなたは、親や周りの大人から自分が大切にされていると感じますか？ ① そう思う ② だいたいそう思う ③ あまり思わない ④ そうは思わない
8	あなたには、将来の夢ややりたい職業がありますか？ ① ある ② なんとなくある ③ ない
9	あなたは悩みがあるとき、誰かに相談していますか？ ① している ② したいけどできない ③ したいと思わない ④ その他 ( )
10	あなたが困ったり、つらい時、誰に相談しますか？(いくつでも) ① 家族 ② 先生・スクールカウンセラー ③ 友達 ④ その他 ( )
11	悩みを相談したことがある人にお聞きします。相談してどうなりましたか？ ①解決した・すっきりした ②解決しなかった・モヤモヤした ③まだ相談の途中 ④その他 ( )
12	あなたは自分の考えをよく聞いてもらえますか？ ① 聞いてもらえる ② 大体聞いてもらえる ③ あまり聞いてもらえない ④ 聞いてもらえない
13	あなたは、自分のやる事や将来を親に決められることをどう思いますか？ ① 当然だと思う ② 仕方がないと思う ③ 嫌だと思う ④ その他 ( )
14	あなたが大人に、心がけてほしいことは何ですか？(いくつでも) ①勝手に決めないでほしい ②しつこく聞かないでほしい ③もっと話を聞いてほしい ④その他( )
15	あなたは、差別やいやがらせ、暴力などイヤな思いをしたことがありますか？ ① 今もある ② 時々ある ③ 昔あった ④ ない・覚えていない
16	「ある」「あった」と答えた人にお聞きします。それは誰からですか？(いくつでも) ① 家族から ② 友達から ③ 先生から ④ その他 ( )
17	差別やいやがらせを受けたら、あなたはどうしますか？ ① 誰かに相談する ② がまんする ③ 仕返しをする ④ その他
18	あなたが困ったときや悩みがあるとき、相談に行きやすいのは、どこですか？(いくつでも) ①家の近く ②友達・知り合いがいないところ ③行ったことがある場所 ④その他 ( )
19	あなたが困ったときや悩みがあるとき、相談しやすいのは、どんな方法ですか？(いくつでも) ① 直接、会って相談する ② 電話 ③ メール・SNS ④ その他 ( )
20	あなたは普段、放課後はどこで過ごしていますか？ ① 学校・校庭 ② 自宅、友達の家 ③ 児童館・図書館・公園 ④ その他 ( )
21	あなたは放課後に、どんな場所で過ごしたいですか？ ①遊具が多いところ ②広い、または静かなところ ③大人がいないところ ④その他 ( )
22	あなたは放課後に、誰と過ごしたいですか？ ① 友人と ② 一人で ③ 家族と ④ その他 ( )
23	あなたが自由に遊べるのは、何時までですか？ ① 17時 ② 17時半 ③ 18時以降 ④ ない・その他 ( )
24	あなたには、学校や家族以外の友人や知り合いがいますか？ ① 子どもの知り合いがいる ② 大人の知り合いがいる ③ 両方いる ④ いない
25	あなたは、「小金井市子どもの権利に関する条例」を知っていますか？ ① 知っている ② 学校でならった ③ どこかできいたことがある ④ 知らない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

## 子どものアンケートに係る委員意見等

設問	意見等	委員	時期	事務局コメント(「→」付は会議中の回答)
5	5の理由は何なのかというところで、本当は人間関係の中にも、親となのか、友達なのか、理由は様々なのかなと思いますので、そういったところが細かく聞けるといいのではないかと。	片山	会議中	→25問聞いてしまうと、スペースはない。設問数は増やせないで細かくは聞けない。
7	「7自分が大切にされていると感じるか」は、設問全文を見ていないのでわかりませんが、「誰から大切にされているか」を明確にするものなのでしょうか。保護者から、との限定なのでしょうか。	古源	終了後	川崎市の項目を参考に、以下のように表現しました。 「あなたは、親や周りの大人から大切にされていると感じますか？」
17	17番嫌な思いをした時の選択肢の「我慢する」も色々問題があると思うので、何故我慢するのかという理由まで聞けるとよい。	片山	会議中	→25問聞いてしまうと、スペースはない。設問数は増やせないで細かくは聞けない。
22 23	No.22,23が他市等にも丸がついていないが、この2つを追加した理由	白井	会議中	→子どもの居場所という議論が別の審議会においても熱心に審議されているので、今回新たに追加したいと考えた。
23	門限の問いは、あきらかに小学生向けで、中学生は皆その他になってしまうため、小学生と中学生は設問を変えた方がよい。	大久保	終了後	設問で意図していたのは、塾や部活等の「埋まっている時間に対する生活状況」ではなく、「ゆたかに生きる権利に結びつく、自由に使える時間の限界時間」＝「家以外の居場所にいられる時間帯」のため、ご意見を踏まえ、以下のように修正します。 「あなたが自由に遊べるのは、何時までですか？」
23	「23あなたの家の門限は」は必要なかどうか、考えています。当然、対象学年(小、中)によって選択肢の時刻を変えて提示するのかと思います。塾などに通っている子が多い中でバラつきが出るように思います。	古源	終了後	
20	No.20放課後の場所の選択肢は4枠にとられず時抱くと友人の家は居場所としての性格が異なるので分けることが望ましい 児童館・公園・図書館の選択肢もわけるとそれぞれの利用度がわかるのでは 実態調査アンケートは「記念事業の一環」の範疇でとめるか、その他青少年を取り巻くデータとして活用するまで広げるか、によって問いかけが変化する	傍聴者	終了後	外部委託をしている調査ではないので、事務局として処理できる回答数は、マークシート方式の25問までとなります。
24	住んでいる地域の中で、自分のことを知っている大人が何人いるかというような、アンケートも入れて欲しい。地域の状況が変わってきていて、家庭の親以外の大人との関係も気づけているのか、固定化された価値観にしか触れないで大人になることが懸念されている。地域との関係性がどれだけできているか。調査項目に入れられないか。	白井	会議中	→項目数が限られるため、大人と子どもを分けられないが、24で聞きたいと思っている。
24	「学校以外の知り合い」とありますが、ここで大切なことは協議会の場で述べたように、「地域の中に自分のことを認知してくれる第三者の存在」だと思います。ゆえに、学校以外の知り合いの構成だけを聴いても不十分ではないかと考えます。 →問い24:「あなたについて良く知っている家族以外の大人は何人いますか？」 選択肢:「選択肢①.1人もいない」「選択肢②.1～3人程度」「選択肢③.10人以内」「選択肢④.10人以上」	白井	終了後	設問の意図としては、「学校以外に安心できる心の拠り所があるのか」を把握したいと考えました。子どもの世界において、頼りになる大人が存在も大きいですが、例えば塾の友達とは楽しく過ごせる。など、自分らしさを出せる存在は大人ではなく子ども同士の場合もあるのではと考えます。
方法	子どもと保護者に同じ内容をぶつけて比較するのか、子どもだけに取るのか。	志波	会議中	→4500標本を超えるので子どものみを考えている。

設問	意見等	委員	時期	事務局コメント(「→」付は会議中の回答)
方法	目的にオンブズパーソンがあげられていない。権利条例10周年だけなので、そこがわかるような、子どもたちの困りごとを把握するためみたいなことを明記したほうがよいのではないか。実際のアンケート案については、小学生を対象に取れていなかったのであれば重要なアンケートであると思うが、マークシートでは自由記述理由の書き込みが難しいのか。	片山	会議中	→今回のアンケートは、あくまで青少年問題協議会として、子どもの実態を把握するのが目的であり、オンブズパーソン等特定の事業のためではなく、最終的には保護者への意識啓発を考えてのアンケートである。 25問聞いてしまうと、スペースはない。設問数は増やせないで細かくは聞けない。
方法	選択肢4に「その他」がある場合、そのすべてに自由筆記が可能なのか、項目を選んでその他について筆記可能とするのか、教えていただきたいと思えます。	古源	終了後	その他の場合は、( )内への記入を想定しています。
方法	全校でのアンケートは学校に対する負担も大きいと考える。例えば「学校に行きたくない」などの設問で「行きたくない」と答えた生徒については、担任としては早めにフォローをしていきたいと思うので、クラス名と出席番号等を記載する場所を設けてもらって、すぐに児童が特定できるように工夫してもらえないか。匿名性がなくなることで、答えなくなることも考えられるが、全校でという負担をかけるやり方でやるのであれば、当然指導やフォローに役立てたいという意見が教員からでることも考えられる。 後からこの回答をした児童を探そうとしても、難しく、指導が遅れる可能性があるため、できれば検討していただきたい。	大熊	会議中	→(市長)学校の現場の教師の意見も重要だと思う。学校長を中心に決めていって欲しい。
その他	「記名式で」という件については、反対です。無記名でお願いいたします。なぜなら、記名式にすると実態が見えてこなくなるリスクが生じるからです。教育長がいわんとすることは理解できますし、子どもたちのことを考えると即座に対応すべきかと存じます。ただし、記名式にすることで、そもそもその回答を控えてしまう可能性があり、気持ちを隠すことで、実態が見えなくなるという危惧です。このアンケートの目的は何か？を考えると、子どもの権利に関する条例が施行して10年が経過し、10年前と現状の変化の比較とともに、どこに課題があるのかを分析するための材料となるはずで、その分析をもって、今後何を注力するべきかを協議していく流れだと認識しています。部会の皆様にあたっては、このアンケートの目的に沿って、アンケートの無記名についてご賛同いただければ幸いです。	白井	終了後	コメントを控え、専門委員会で皆様のご意見を伺います。
その他	協議会の時、教育長から、「学校に行きたくない」という設問に学校で速やかに対応したいので、出席番号とクラス名を記載してほしい、という意見がありました。 このアンケートは、絶対に無記名で行うべきです。 子ども家庭部の管轄である、青少年問題協議会が責任を持って行うアンケート調査であり、クラス名や出席番号などで特定され、先生にわかる恐れがあるとわかれば、子どもたちは率直な思いを出すことができなくなります。それではアンケート調査の意味がありません。 子どもたちからの率直な声は非常に貴重な情報です。このアンケート調査の結果を、子どもたちの支援体制づくりに十分に活かせるように、誰にも個人情報漏れないような安心して回答できる状況のもとでの調査をお願いします。 野田市の児童虐待殺人事件の時にも、学校で行ったアンケート調査に子どもが率直に答えた結果を、親の求めにより渡してしまったことから、子どもへの虐待殺人へと繋がってしまった、重い事実を受け止めて、慎重に取り組んでいただきたいと思っています。	片山	終了後	

設問	意見等	委員	時期	事務局コメント(「→」付は会議中の回答)
その他	<p>また明日という子ども食堂で聞いた言葉「小金井市でも一人親家庭はだいぶ増えている。家庭を支えるために、親は仕事に行ってしまう。低学年の場合には、帰ってくるまで食事にありつけない。中学生になると、お金を渡されて自分で買って食べるようになる。」</p> <p>前回調査で、あなたは朝食や夕食を誰と一緒に食べていますか？という設問があるが、こういう家庭は一緒に食べる時間が夜8時とか10時とかということもありうる。それでも「一緒に食べた」という回答になる。</p> <p>東京都では子ども食堂の補助を始めたけれども、長期休みの小学生の昼食をどうするかとか、小学生4年生以上のアンケートに反映できるかはわからないが、一人親家庭の子どもの生活状況についてのアンケートを反映でいれば欲しい。できなければ今後青少年問題協議会でも取り扱って欲しい。</p>	板倉	会議中	<p>今回は、前期からの引継ぎがあり、テーマから話しあうことができません。</p> <p>今回の調査については、特定の施策に関するアンケート調査ではなく、あくまで大局的な小金井市の青少年問題に関する意識調査のため、一般の子どもが子どもの権利をどう感じているのか、そこから見えてくる問題点や認識を審議するために、この調査を本協議会で行うと認識しています。</p> <p>今後特定のターゲット層に向けたアンケート等実施していくかについては、次期への申し送りを含めて、議論いただければと思います。</p>
その他	<p>前回まとめたときに、インターネットSNSと帰宅時に保護者のいない家庭の相関関係がないの？という指摘がありました。今回のアンケートをとっても、非常に有意さが合った場合には、それって何で？ということ、専門委員会では深く突っ込んで議論していただきたいと思う。</p>	福島	終了後	<p>今回の任期については、アンケートを前倒しで行うため、前期に比べて審議期間が長く取れる予定です。</p>
その他	<p>子どもの権利を考えるときに、自分の権利についての認識を深めることはもちろんなのですが、自分と同じように他者にも権利があり、それを尊重するという視点が必要なのかと思います。アンケート自体が周知・啓発の目的も持っているとするなら、他者の権利をどう考えているか、というような内容の設問があったらと思います。</p>	古源	終了後	<p>問題数が増やせないため、この設問を挿入するためには何かの設問を削る必要があります。</p> <p>設問内容と共に、何を削るかも、議論いただければと思います。</p>
その他	<p>今回の設問の元となっている、比較のための設問等を、専門委員会で配布して欲しい。</p>	古源	終了後	<p>資料として配布します。</p>

参考意見	<p>小学校中学年で不登校になった子どもの保護者からも以下の意見をいただいています。</p> <p>「出席番号とクラス番号をアンケートに記載するようにとのこと、そんなことをしたら、子どもたちはアンケートに本音を書かないのではないのでしょうか。</p> <p>もし、子どもが正直にアンケートに回答して、該当の子どもに学校が速やかに対応したら、その対応が原因で子どもは学校に行かなくなる、つまり逆効果になる可能性も想定されます。</p> <p>昨今の不登校は、学校の先生との関係が原因のケースが増えているというデータもあります。そのような背景を考えて、アンケートを行って欲しいです。</p> <p>また、学校しか居場所がない子どもも沢山いるでしょう。そういう子どもたちへの対応も考えなければいけないのではないかと思います。」</p>	市民 (片山)	終了後	<p>※以下につきましては、委員ではない方からのご意見ですが、協議会委員のご意見の中に記載があったため「参考意見」として掲載させていただきます。</p> <p>(委員でない方の氏名については、伏せさせていただきます。)</p>
参考意見	<p>他の市民からは、「10年前のアンケート項目が分からず、目的の1つが制定後との比較であると、的外れかもしれませんが、応える子どもの応えやすさを考えると、場面を分けた方がイメージしやすいのではないかと思います。</p> <p>家庭、学校、それ以外のそれぞれのシーンについて、各設問への応えを引き出す。</p> <p>問いは繰り返しになりますが、より具体的な状況が掴める気がします。」というご意見もいただきました。</p>	市民 (片山)	終了後	

設問	意見等	委員	時期	事務局コメント(「→」付は会議中の回答)
<p>参考意見</p>	<p>また、アンケート調査を効果的に活用するためのご意見もいただきました。          子どもの権利条例施行10年を記念して、小金井市の4年生以上の全小中学生を対象にアンケート調査をされると聞いて、すばらしいことだと思います。          子どもの問題で、もっとも深刻なのは、各年代の自殺は減っているのに10代の自殺が減らないことです。自殺対策白書によれば昨年は増えているそうです。          毎年、二学期を迎える9月1日には子どもの自殺者が多く、それを意識するこの時期に準備をされている委員の方たちのご苦勞もお察しします。          背景には何があるのか、何が子どもたちを追い詰めているのか、大人は真剣に考えなくてはならないと思います。          小金井市は比較的落ち着いていると言われ、子どもの問題に気づきにくい面もあるかもしれません。          けれど、子どもたちはほんとうに大人のことをよく見ていて、大人の期待や希望を察知して合わせてしまったり我慢してしまうところがあります。          自殺しないまでも、ジッと耐えている子どもたちがいるはずですよ。          そのことを踏まえた上で、アンケートをとっていただきたいなと思います。          小金井市の特徴としては、文教地区ということで、親御さんや指導者はよかれと思っているかもしれませんが、教育虐待や暴力が心配されるケースがあると思います。          もう少し子ども自身が場面を想像して答えられる項目があるといいなと思います。          何が知りたいのか、結果をどう活かしていくのかがとても気になることです。          アンケートの結果を数字だけでとらえるのではなく、本音を引き出せたいです。          「なぜこういうことを聞いてくれるのだろう」と思う子どももいると思います。          回答は、子どもからのメッセージでもあります。          また、教育委員会・指導室では「いじめ防止条例」が検討されるようですが、そちらでもアンケートをとったり重複したりするようでしたら、むしろ今回必要なことを尋ねていただきたいなと思います。          縦割りでなく、市民も含め、小金井市全体で子どものことをどう見守るのか、子どもたちの声にどう応えていくのか、そういう施策の基盤になるアンケート調査だいいなと思います。</p> <p>最後に、アンケートに答えるタイミングで、自分に起きていることをはっきり自覚して辛くなる子どももいると思います。          別項目で、今、子ども自身が相談できる連絡先を入れてください。          アンケートの集計とは関係なく、SOSを出したい時にアクセスできる情報を伝えてほしいと思います。</p>	<p>市民 (片山)</p>	<p>終了後</p>	
	<p>〇〇議員からはアンケート項目の具体的な改善案をいただいています。わかりやすく、参考になるかと思えます。時間の短い中での検討作業は大変かとは思いますが、ぜひご参考いただくと助かります。          「●「目的」への加筆:          子どもの権利条例制定10年を経過し、その頃どう変わったのか、現在の子どもの実態を把握する。併せて、2021年度の子どもオンブズパーソン設置に向けて、子どもの困り事や悩み事の実態と、それをどのように子どもたちは受け止めて対応しているのかなどの、子どもの実感についても把握する。</p> <p>●今ある「質問」への加筆          Q5: 選択肢1の「人間関係」⇒親、兄弟、先生、友達、その他          Q7: ①家では、自分が大切にされていると感じるか。          ②学校では、自分が大切にされていると感じるか。</p> <p>Q9: 悩みを相談しているか: 選択肢2, 3の「したいけど出来ない」「したいと思わない」          ⇒その理由          (9, 17の選択肢の例・わかってくれないからムダ。・怒られたり、馬鹿にされるから怖い。・大人が忙しい。・大人を困らせたくない。・大人(友達)が嫌いだから。etc)</p> <p>Q17: いやな思いをしたときの対応: 選択肢1に「やめてほしいと言った」          選択肢2の「我慢する」⇒その理由( )</p>			

設問	意見等	委員	時期	事務局コメント(「→」付は会議中の回答)
<p>参考意見</p>	<p>●新たな「質問」  Q:あなたにとって、あなたを大切に思ってくれていると思える人は、だれですか。  ○は3つまで。《松本市の調査より》  1. 親2. 兄弟姉妹3. 祖父母 4. 友だち5. 担任の先生6. 保健室の先生  7. クラブ・部活動の顧問の先生8. その他の先生9. インターネットでの相談相手10. 話を聞いてくれる相談窓口11. 大切に思っている人はいない12. その他( )</p> <p>Q:あなたは、これまでに、おとなから次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありますか。○はいくつでも《松本市の調査より》  1. 親(保護者ほごしや)から、たたかれる、なぐられる  2. 親(保護者ほごしや)に、心を傷きずつけられる言葉を言われる  3. 親(保護者ほごしや)に、いやらしいことを言われたり、されたりする4. 親(保護者ほごしや)に、自分をほったらかしにされる  5. 学校や幼稚園、保育所、施設しせつの先生や職員から、たたかれる、なぐられる  6. 学校や幼稚園、保育所、施設しせつの先生や職員に、心を傷きずつけられる言葉を言われる  7. 学校や幼稚園、保育所、施設しせつの先生や職員に、いやらしいことを言われたり、されたりする  8. 塾じゅくや習いごとの先生、スポーツクラブの監督かんとくなどから、たたかれる、なぐられる  9. 塾じゅくや習いごとの先生、スポーツクラブの監督かんとくなどに、心を傷きずつけられる言葉を言われる  10. 塾じゅくや習いごとの先生、スポーツクラブの監督かんとくなどに、いやらしいことを言われたり、されたりする  11. 知らないおとなに、声をかけられる、追いかけられる  12. されたことはない  13. その他[1～11以外におとなからされて「いやな思い」をしたことがある場合、だれからどんなことをされたことがいやだったか、書いてください]( )</p> <p>Q:あなたは、友だちや先輩せんぱいなどから、次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありますか。《松本市の調査より》  1. 友だちや先輩せんぱいなどから、無視される  2. 友だちや先輩せんぱいなどから、暴力をふるわれる  3. 友だちや先輩せんぱいなどから、インターネットやメールでいじめられる  4. 友だちや先輩せんぱいなどに、心を傷きずつけられる言葉を言われる  5. 友だちや先輩せんぱいなどに、物・金をとられる  6. 友だちや先輩せんぱいなどから、万引きなどいけないことをむりやりさせられる  7. 友だちや先輩せんぱいなどから、はずかしいことをむりやりさせられる  8. されたことはない  9. その他 くわしく書いてください( )</p> <p>Q:あなたは、おとなから心や体に苦痛を感じるような扱あつかいを、家庭や学校などで受けたことがありますか。《川西市調査》  1.まったくない。 2.少しある。 3.よくある。 4.わからない。</p> <p>(質問で、2または3と答えた人だけ答えてください。)あなたが受けた苦痛くつうは、あなたにとって次のどれが一番近いですか。  1.生きているのが、とてもつらく思えるほどのくつう苦痛を感じた。  2.上の1ほどでもないが、家にいるのがいやになったり学校に行くのがいやになるほどのくつう苦痛を感じた。  3.上の1や2ほどでもないが、くつう苦痛を感じた。  4.とくべつ特別なくつう苦痛というほどではなく、気持ちとしていやだなあと思った。</p>	<p>議員 (片山)</p>	<p>終了後</p>	

問 20 あなたは、困ったことや悩みがあるときに、電話相談や窓口などで相談員に直接相談したいと思いますか？

- 1.思う 2.思わない 3.わからない

問 21 あなたは、「子どもの権利条約」を知っていますか？

- 1.内容もよく知っている 2.知っている 3.言葉は聞いたことがある 4.知らない

問 21-1 問 21 で「1.内容もよく知っている」「2.言葉は聞いたことがある」と答えた人にお聞きします。「子どもの権利条約」を、どこで知りましたか？

- 1.学校で先生から 2.親や兄弟など家族から 3.友だちから  
4.テレビやラジオから 5.本や新聞・雑誌から 6.その他( )

問 22 次のような子どもの権利条約の中で、あなたが知っているものはどれですか？(いくつでも選んでください。)

- 1.人は、誰も差別を受けないこと
- 2.子どもに関係あることを決めるとき、子どもにとって何が最も良いことを考えること
- 3.命が守られること
- 4.保護者には、子どもを適切に指導する責任・権利・義務があること
- 5.自分にかかわることについて、自由に自分の意見を言えること
- 6.自分の考えをいろいろな方法で表現できること
- 7.自分の考えや信じているものが尊重されること
- 8.自分の意志で自由にグループをつくらったり、集会に参加できること
- 9.自分のプライバシーが守られること
- 10.暴力や言葉で傷つけられたり、不当な扱いを受けないこと
- 11.健やかに成長するために、必要な保護や援助が受けられること
- 12.障害のある子どもが守られ、必要な助けが受けられること
- 13.どんなときでも、できる限り健康な生活を送ることができること
- 14.子どもの学習が大切にされ、一人ひとりのその人らしさが認められること
- 15.それぞれの民族の文化・宗教・言語が尊重されること
- 16.疲れた心や体を休ませる時間、遊びやレクリエーションなど自分の自由になる時間を持つこと

問 23 子どもの権利についてあなたが考えていること、おとなにこうしてほしいと思うことなどを自由に書いてください。

## 子どもの生活に関するアンケート

答えるときは、親や先生などまわりの人に相談しないで、自分のわかる範囲で書いてください。

問 1 あなたの性別 ( )

問 2 あなたには、のんびりする時間がありますか？

- 1.たくさんある 2.少しある 3.あまりない 4.ほとんどない

問 2-1 問 2 で「3.あまりない」「4.ほとんどない」と答えた人にお聞きします。のんびりする時間がないのは、あなたが何をしているからですか？(いくつでも選んでください。)

- 1.学校以外でのならいごと(ピアノ、水泳、習字、そろばん、地域のサッカークラブ、少年野球など)
- 2.学校の部活動やスポーツ活動
- 3.学習塾・進学塾
- 4.家での勉強(宿題や家庭教師)
- 5.家の仕事の手伝い
- 6.地域の活動(ボランティア、子ども会、祭など)
- 7.その他( )

問 3 あなたは、のんびりする時間がほしいですか？

- 1.もっとほしい 2.少しほしい 3.今のままでいい 4.わからない

問 4 あなたがホッとして安心できる場所はどこですか？(いくつでも選んでください。)

- 1.自分の家 2.自分の部屋 3.友だちの家 4.学校 5.公園
- 6.児童館・図書館 7.塾・習いごとの教室 8.ファーストフード店(マックなど)
- 9.ゲームセンター・カラオケボックス 10.コンビニ・スーパー
- 11.その他( )
- 12.ない

問 5 あなたは、学校に行きたくないと思ったことがありますか？

- 1.よくある 2.ときどきある 3.ほとんどない 4.まったくない

問 5-1 問 5 で「1.よくある」「2.ときどきある」と答えた人にお聞きします。その原因はどんなことだと思いますか？(主なものを2つまで選んでください。)

- 1.いじめ 2.友達とのこと 3.先生とのこと 4.勉強がわからない
- 5.体の調子が悪い 6.ゆっくり休みたい 7.つまらない 8.何となく
- 9.その他( )

問 6 あなたは、自分のことが好きですか？

- 1.好き 2.どちらかといえば好き 3.どちらかといえば好きではない  
4.好きではない 5.どちらともいえない 6.わからない

問 7 あなたには、将来の夢やなりたい職業はありますか？

- 1.ある 2.なんとなくある 3.ない

問 8 あなたは、自分の日記や手紙、携帯電話などを、ことわりもなく調べられたり見られたりしたことがありますか？



問8-1 問8で「1.ある」と答えた人にお聞きします。あなたは、その時ど

- 1.とてもいやだった 2.いやだった 3.あまり気にならなかった  
4.気にならなかった 5.わからない 6.その他( )

問9 あなたは、自分に関係のあることについては、自分にも知らせてほしいですか？

- 1.必ず知らせてほしい 2.できれば知らせてほしい  
3.知らせてもらう必要はない 4.どちらでもよい 5.わからない

問10 あなたは、自分の考えをよく聞いてもらっていますか？

- 1.よく聞いてもらっている 2.ときどき聞いてもらっている  
3.ほとんど聞いてもらっていない 4.まったく聞いてもらっていない 5.わからない

問11 あなたは自分の考えをもっと聞いてほしいと思いますか？

- 1.思う 2.ときどき思う 3.ほとんど思わない 4.まったく思わない 5.わからない

問11-1 問11で「1.思う」「2.ときどき思う」と答えた人にお聞きします。あなたが考えを聞いてほしいのは、どんなときですか。(いくつでも選んでください。)

①家庭で

- 1.家の新築や引越、大きな買い物など家族にとって重要なことを決めるとき  
2.旅行の行き先や日にち、外食するときの店など家族と一緒に遊ぶことを決めるとき  
3.門限やおこずかいなど家庭のルールについて決めるとき  
4.進路や進学先など自分のことを決めるとき  
5.世の中のできごとやニュースなどを話題にしているとき  
6.その他( )

②学校で

- 1.児童会や生徒会の活動について 2.学校、クラスのきまりや約束ごとについて  
3.文化祭や学習発表会、運動会などの行事内容について  
4.授業の進め方について 5.その他( )

③地域で

- 1.子どもたちが使う公園や児童館・図書館などを建てる時や、その使い方を決めるとき  
2.「子ども会」や「子ども議会」など、子どものための会のやり方などを決めるとき  
3.町会・自治会のお祭などに、子どもが参加するやり方などを決めるとき  
4.その他( )

問12 あなたは、自分の行動を親に決められたらどう思いますか？

- 1.とてもいやだ 2.いやだ 3.あまりいやではない 4.よいと思う 5.わからない

問13 あなたは、自分の将来を親に決められたらどう思いますか？

- 1.とてもいやだ 2.いやだ 3.あまりいやではない 4.よいと思う 5.わからない

問14 あなたは、おとなから差別やいやがらせを受けたり、暴力をふるわれたりしたことがありますか？

- 1.よくある 2.ときどきある 3.あまりない 4.ない

問14-1 問14で「1.よくある」「2.ときどきある」と答えた人にお聞きします。誰からどのようなことをされましたか？

①誰から？(いくつでも選んでください)

- 1.家族から 2.先生から 3.地域の人から 4.その他( )

②どのようなこと？

問14-2 問14で「1.よくある」「2.ときどきある」と答えた人にお聞きします。おとなから差別やいやがらせを受けたり、暴力をふるわれたりしたとき、あなたはどうしましたか？

- 1.人に相談した(誰に )  
2.誰にも言わないで、がまんした(理由 )  
3.仕返しをした )  
4.その他( )

問15 あなたは、友だちや仲間からいじめや差別を受けたことがありますか？

- 1.よくある 2.ときどきある 3.あまりない 4.ない

問15-1 問15で「1.よくある」「2.ときどきある」と答えた人にお聞きします。それはどんなことですか？

問15-2 問15で「1.よくある」「2.ときどきある」と答えた人にお聞きします。いじめや差別を受けたときに、あなたはどうしましたか？

- 1.人に相談した(誰に )  
2.誰にも言わないで、がまんした(理由 )  
3.仕返しをした )  
4.その他( )

問16 あなたは、いじめや差別をしたことがありますか？

- 1.ある 2.ない

問16-1 問16で「1.ある」と答えた人にお聞きします。なぜいじめや差別をしたのですか？(主な理由を一つだけ選んでください。)

- 1.気に入らないから 2.みんながやっているから 3.やれといわれたから  
4.いらいらしていたから 5.なんとなく 5.その他( )

問17 もし、誰かがいじめられたり差別されたりしている場所にいたとしたら、あなたはどうだと思いますか？

- 1.自分で止める 2.誰かに止めてもらう 3.見て見ぬふりをする  
4.そのまま見ている 5.自分もいじめに加わる 6.わからない  
7.その他( )

問18 あなたはいじめについて、どう思いますか？

- 1.いけないことだと思う 2.しかたないと思う  
3.いじめられるほうにも原因があると思う 4.わからない  
5.その他( )

問19 あなたが何か困ったとき、安心して話を聞いてもらったり、相談したりできる人は誰ですか？(いくつでも選んでください。)

- 1.親 2.兄弟姉妹 3.祖父母 4.親戚 5.友だち 6.学校の先生  
7.塾・習いごとの先生 8.スクールカウンセラー 9.地域の知り合い  
10.その他( )  
11.いない

問 22 あなたは、「子どもの権利条約」を知っていますか？

- 1. 内容もよく知っている
- 2. 知っている
- 3. 音楽は聞いたことがある
- 4. 知らない

問 22-1 問 22 で「1.内容もよく知っている」「2.知っている」「3.音楽は聞いたことがある」と答えた方にお聞きします。「子どもの権利条約」を、どこで知りましたか？

- 1. 学校で先生から
- 2. 家族から
- 3. 友だちから
- 4. テレビやラジオから
- 5. 本や新聞・雑誌から
- 6. その他 ( )

問 23 次のような子どもの権利条約の中で、あなたが知っているものはどれですか？(いくつでも選んでください。)

- 1. 人は、誰も差別を受けないこと
- 2. 子どもに関係あることを決めるとき、子どもにとって何がもっとも良いことかを考えること
- 3. 命が守られること
- 4. 保護者には、子どもを適切に指導する責任・権利・義務があること
- 5. 自分にかかわることについて、自由に自分の意見を言えること
- 6. 自分の考えをいろいろな方法で表現できること
- 7. 自分の考えや信じているものが尊重されること
- 8. 自分の意志で自由にグループをつくったり、集会に参加できること
- 9. 自分のプライバシーが守られること
- 10. 暴力や言葉で傷つけられたり、不当な扱いを受けないこと
- 11. 健やかに成長するために、必要な保護や援助が受けられること
- 12. 障害のある子どもが守られ、必要な助けが受けられること
- 13. どんなときでも、できる限り健康な生活を送ることができること
- 14. 子どもの学習が大切にされ、一人ひとりのその人らしさが認められること
- 15. それぞれの民族の文化・宗教・言語が尊重されること
- 16. 疲れた心や体を休ませる時間、遊びやレクリエーションなど自分の自由になる時間を持つこと

問 24 子どもの権利について、あなたが考えていることを自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。記入後は、このアンケート用紙を封筒に入れ、封をして3月15日までにポストに入れてください。

## 子どもの生活に関するアンケート

お子さんに相談なさらず、ご自分のわかる範囲でご記入ください。

- 問 1 お子さんの性別 ( )
- 問 2 あなたの性別 ( )
- 問 3 お子さんとの続柄 ( )
- 問 4 あなたの年齢は  
1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60歳以上
- 問 5 あなたは、お子さんにのんびりする時間があると思いますか？  
1. たくさんある 2. 少しある 3. あまりない 4. ほとんどない 5. わからない
- 問 5-1 問 5 で「3.あまりない」「4.ほとんどない」と答え方にお聞きします。のんびりする時間がないのは、お子さんが何をしているからだと思いますか？(いくつでも選んでください。)
- 1. 学校以外でのならいごと(ピアノ、水泳、習字、そろばん、地域のサッカークラブ、少年野球など)
  - 2. 学校の部活動やスポーツ活動
  - 3. 学習塾・進学塾
  - 4. 家での勉強(宿題や家庭教師)
  - 5. 家の仕事の手伝い
  - 6. 地域の活動(ボランティア、子ども祭、祭など)
  - 7. その他 ( )
- 問 6 あなたは、お子さんがのんびりする時間を求めていると思いますか？  
1. もっとほしいと望んでいると思う 2. 少しほしいと望んでいると思う  
3.今のままでいいと思う 4.わからない
- 問 7 あなたは、お子さんがホッと安心して安心できる場所はどこだと思いますか？(いくつでも選んでください。)
- 1. 自分の家 2. 自分の部屋 3. 友だちの家 4. 学校 5. 公園
  - 6. 児童館・図書館 7. 塾・ならいごとの教室 8. ファーストフード店(マックなど)
  - 9. ゲームセンター・カラオケボックス 10. コンビニ・スーパー
  - 11. その他 ( )
  - 12. ない 13. わからない
- 問 8 あなたは、お子さんが学校に行きたくないと思うことがあると思いますか？  
1. よくあると思う 2. ときどきあると思う 3. ほとんどないと思う  
4. まったくないと思う 5. わからない
- 問 8-1 問 8 で「1.よくあると思う」「2.ときどきあると思う」と答えた方にお聞きします。その原因はどんなことだと思いますか？(主なものを2つまで選んでください。)
- 1. いじめ 2. 友達とのこと 3. 先生とのこと 4. 勉強がわからない
  - 5. 体の調子が悪い 6. ゆっくり休みたい 7. つまらない 8. 何となく
  - 9. その他 ( ) 10. わからない



## 小金井市子ども・子育て支援に関する ニーズ調査

～ ご協力をお願い ～

小金井市では、子どもと子育て家庭を支援するため、「のびゆくこどもプラン 小金井」という計画を作り、様々な取組を行っています。

この調査は、皆さんの普段の生活や考え方などをお聞かせいただき、皆さんが健やかに成長できるまちとなるよう、新しい計画を作るために、12歳から18歳までの1,250名を任意に選んで行うものです。

なお、回答いただいた内容は、新しい計画を作るためだけに利用し、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

皆さんが健やかに成長できるまちにするためにも、ぜひ回答のご協力をお願いします。

平成30年11月

小金井市長 **石岡真一郎**

～ ご記入にあたって ～

1. この調査は、**宛名の方が**記入してください。
2. 回答は、あてはまる番号に○をつける場合と言葉や数字を記入する場合があります。  
○の数は質問によって異なりますので注意してください。  
「その他」を選択した場合は、( ) の中に具体的な内容を記入してください。
3. 設問によって回答する方が限られる場合がありますので、質問文を読んで記入してください。
4. 記入が済みましたら、アンケート票を3つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて **12月5日(水)までに郵便ポストへ投函**してください。(切手不要)
5. 回答する上での不明点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

【お問合せ先】 小金井市子ども家庭部子育て支援課  
電話：042-387-9836 (直通)

あなたのことについてうかがいます。

問1 住んでいる地区はどこですか。(1つに○)

- |        |        |        |         |          |
|--------|--------|--------|---------|----------|
| 1. 東町  | 2. 梶野町 | 3. 関野町 | 4. 緑町   | 5. 中町    |
| 6. 前原町 | 7. 本町  | 8. 桜町  | 9. 貴井北町 | 10. 貴井南町 |

問2 性別を教えてください。(1つに○)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 生年月を記入してください。(数字を記入)

平成   年   月生まれ

問4 どなたと同居していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |          |            |
|----------|------------|
| 1. 母親    | 2. 父親      |
| 3. 兄弟・姉妹 | 4. 祖父      |
| 5. 祖母    | 6. その他 ( ) |

問5 学校に通っていますか。働いていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 学校に通っている              |
| 2. 学校に所属しているが通っていない      |
| 3. 働いている(フルタイム ※)        |
| 4. 働いている(パートタイム、アルバイト ※) |
| 5. その他 ( )               |

※フルタイム・・・1週5日程度・1日8時間程度の就労  
 ※パートタイム・アルバイト・・・フルタイム以外の就労

同居している家族の就労状況についてうかがいます。

問6 同居している家族のうち、フルタイムまたはパートタイム・アルバイトで働いている方はどなたですか。

フルタイム (あてはまるものすべてに○)	パートタイム・アルバイト (あてはまるものすべてに○)
1. 父親	1. 父親
2. 母親	2. 母親
3. その他 ( )	3. その他 ( )

放課後や休日の過ごし方についてうかがいます。

問7 ふだん、放課後や休日をどのように過ごしていますか。過ごし方で一番多いものについて、下の枠内に「どこで」「どのように」に分けて具体的に記入してください。

(1) 放課後

どこで(例:学校で)	どのように(何をしているか)(例:部活をしている)

(2) 休日

どこで(例:家で)	どのように(何をしているか)(例:勉強をしている)

問8 放課後や休日を過ごすのに、どのような施設や遊び場が家の近所にあるとうれしいですか。(3つまでに○)

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1. 大きな公園や広場         | 2. 屋内のスポーツ施設   |
| 3. 屋外のスポーツ施設        | 4. 自然と親しめる空間   |
| 5. 本を自由に読める施設       | 6. 自習できる施設     |
| 7. 音楽を自由に練習できる施設    | 8. ダンスを練習できる施設 |
| 9. 放課後子ども教室(中学生のみ)  | 10. 映画館        |
| 11. 美術館             | 12. 体験学習施設 ※   |
| 13. 大型ゲームセンター       | 14. ショッピングセンター |
| 15. ライブ、コンサート会場     | 16. 音楽スタジオ     |
| 17. インターネットカフェ      | 18. フリースペース    |
| 19. 障がいのある生徒が集まれる施設 | 20. その他 ( )    |
| 21. 特にない            |                |

※体験学習施設・・・動植物、職業、歴史・文化、防災などを体験学習できる施設

問9 あなたが日ごろ、もっとしたいと思っていることは何ですか。(3つまでに○)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 家族と過ごすこと       | 2. 家族と一緒に食事をとること    |
| 3. 友だちと遊ぶこと       | 4. 勉強をすること          |
| 5. スポーツをすること      | 6. 本を読むこと           |
| 7. 部活動をする         | 8. ボランティア活動や地域活動をする |
| 9. 趣味の活動をする       | 10. 身体を動かすこと        |
| 11. テレビやビデオを見ること  | 12. ゲームをすること        |
| 13. インターネットをすること  | 14. LINEやメールをすること   |
| 15. 仕事やアルバイトをすること | 16. ゆっくり休むこと        |
| 17. その他 ( )       | 18. 特にない            |

小金井市の事業や施設についてうかがいます。

問10 下記のサービスや事業について、知っているか、これまでに利用したことがあるか答えてください。また、利用したことがある場合は今後も利用したいか答えてください。(1つに○)

サービスや事業	知っている		これまでに利用したことがある		今後も利用したいか	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
公民館の子ども体験講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
市立清里山荘の自然体験教室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
土曜スポーツクラブ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
図書館のヤングアダルトコーナー	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
保育園・児童館のボランティア	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
夏期クラブ、わんぱく団のボランティア	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
Space@スクイ ※	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
ぶれいず HIGAJI ※	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
貴井南児童館のバンドスタジオ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
放課後子ども教室(中学生のみ)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

※「Space@スクイ」「ぶれいず HIGAJI」…貴井南児童館、東児童館で行っている中・高校生世代のための20時まで・の開館延長事業です。

問11 下記の施設について、知っているか、これまでに利用したことがあるか答えてください。また利用したことがある場合は満足したか、今後も利用したいか答えてください。(1つに○)

サービスや事業	知っている		これまでに利用したことがある		満足したか		今後も利用したいか	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
公園・広場	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
市総合体育館	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
栗山公園運動センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
図書館	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
小金井宮地楽器ホール	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
集会施設	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
公民館	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
はげの森美術館	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
児童館	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
障害者福祉センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
児童発達支援センター「きらり」 ※	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

※ 児童発達支援センター「きらり」…子どものからだ、こころ、発達等に関する相談や療育を行う施設

問12 どの施設の内容を充実してほしいですか。下の枠内に具体的に記入してください。施設は問11の表中にないものでもかまいません。

施設名	充実してほしいこと

日々の生活の問題などについてうかがいます。

問13 いじめや虐待、非行、不登校の経験はありますか。(それぞれ、1つに○)

日常生活の問題	経験について		
いじめを受けたこと	以前経験した	現在も続いている	経験はない
いじめをしたこと	以前経験した	現在も続いている	経験はない
虐待を受けたこと	以前経験した	現在も続いている	経験はない
非行	以前経験した	現在も続いている	経験はない
不登校	以前経験した	現在も続いている	経験はない

問14 下記の相談先について、悩んだ時や困った時に相談したことがあるか、相談先として考えられるか答えてください。また、相談したことがある場合は相談結果について答えてください。(1つに○)

相談先	相談したことがあるか	相談先として考えられるか	相談結果				
家族	はい	いいえ	はい	いいえ	ほっとした	解決の糸口を見つけた	解決しなかった
友人(学校以外の友人)	はい	いいえ	はい	いいえ	ほっとした	解決の糸口を見つけた	解決しなかった
近所の人	はい	いいえ	はい	いいえ	ほっとした	解決の糸口を見つけた	解決しなかった
親戚	はい	いいえ	はい	いいえ	ほっとした	解決の糸口を見つけた	解決しなかった
学校の友人・先輩・後輩	はい	いいえ	はい	いいえ	ほっとした	解決の糸口を見つけた	解決しなかった
学校の先生	はい	いいえ	はい	いいえ	ほっとした	解決の糸口を見つけた	解決しなかった
スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー	はい	いいえ	はい	いいえ	ほっとした	解決の糸口を見つけた	解決しなかった
その他( )	はい	いいえ	はい	いいえ	ほっとした	解決の糸口を見つけた	解決しなかった

問15 悩みごとや困ったことがある場合、次のような相談する場所があることを知っていますか。  
（あてはまるものすべてに○）

- |                             |                                |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー | 2. 子ども家庭支援センター                 |
| 3. 教育相談所                    | 4. 保健センター                      |
| 5. 児童相談所                    | 6. 児童館                         |
| 7. いろいろな機関の電話相談             | 8. その他（                      ） |

問16 うれしいことがあった時、誰に話をしますか。（あてはまるものすべてに○）

- |                             |                                 |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. 家族                       | 2. 学校の友人・先輩・後輩                  |
| 3. 学校の先生                    | 4. 学校以外の友人・先輩・後輩                |
| 5. スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー | 6. SNS、インターネット等での友人             |
| 7. 親戚                       | 8. 近所の人                         |
| 9. 話をする相手がない                | 10. その他（                      ） |

問17 自分がほっとする居場所がありますか。（1つに○）

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. ある →問18へ           | 2. どちらかというところある →問18へ |
| 3. どちらかというところない →問19へ | 4. ない →問19へ           |

◎ 問17で「1. ある」「2. どちらかというところある」と回答した方のみ答えてください。

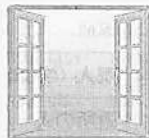
問18 ほっとする居場所を具体的に記入してください。


### 相談窓口

#### 【教育相談所】 ～いじめ、不登校などで悩んだとき～

教育相談所では、電話相談、メール相談、来所相談をすることができます。  
相談は相談員である元校長や臨床心理士が対応いたします。子どもの立場に  
立って考え、より良い解決方法を一緒に考えて行きます。

○ 電話相談（平日 9:00～16:30）     042-384-2508  
   042-384-2097



#### 【子ども家庭支援センター】 ～自分自身のことや家族のことで悩んだとき～

子ども家庭支援センターでは、あらゆる相談をお受けしています。お話をうかがい、必要に応じて  
他機関と連携・協力してあなたと一緒に考えます。「どこに聞いていいかわからない」という場合でも、  
まずは相談してください。

○ 電話相談（月～土 9:00～17:00）     042-321-3146

### あなたの健康についてうかがいます。

問19 以下の設問にお答えください。

(1) 薬物乱用の有害性について知っていますか。（1つに○）

- |          |               |             |
|----------|---------------|-------------|
| 1. 知っている | 2. なんとなく知っている | 3. まったく知らない |
|----------|---------------|-------------|

(2) 性感染症が体に及ぼす影響について知っていますか。（1つに○）

- |          |            |             |
|----------|------------|-------------|
| 1. 知っている | 2. あまり知らない | 3. まったく知らない |
|----------|------------|-------------|

問20 毎日朝食をとっていますか。（1つに○）

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 毎日食べる →問22へ    | 2. 週5～6日食べる →問22へ |
| 3. 週3～4日食べる →問22へ | 4. 週1～2日食べる →問21へ |
| 5. 食べない →問21へ     |                   |

◎ 問20で「4. 週1～2日食べる」「5. 食べない」と回答した方のみ答えてください。

問21 朝食をあまり食べない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |                                |                |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 時間がない                       | 2. 食欲がわかない     |
| 3. 寝ていたい                       | 4. ダイエットのため    |
| 5. 朝食が用意されていない                 | 6. 自分で用意するのが面倒 |
| 7. その他（                      ） |                |

問22 平日に1日で主食と主菜と副菜のそろった食事をとっていますか。主食と主菜\*と副菜\*  
をとっている食事に○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

\*主菜…肉、魚、卵、納豆などのおかず

\*副菜…野菜のおかず

- |       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 1. 朝食 | 2. 昼食                          |
| 3. 夕食 | 4. その他（                      ） |

問23 あなたの体型についてうかがいます。

(1) あなたの身長・体重を答えてください。（数字を記入）

身長  cm                  体重  kg

(2) 自身の体型をどう思いますか（1つに○）

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 1. 普通だと思う   | 2. 少しやせていると思う |
| 3. やせていると思う | 4. 少し太っていると思う |
| 5. 太っていると思う |               |

問24 心だんの体の調子はどうですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 1. 調子が良い           | 2. 朝すっきり目覚められる |
| 3. 朝すっきり目覚められない    | 4. 眠いことが多い     |
| 5. 疲れやすい           | 6. イライラすることが多い |
| 7. 長い時間立っていることがつらい |                |

問25 睡眠時間はどのくらいですか。(1つに○)

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 5時間以下 | 2. 5～6時間 |
| 3. 6～7時間 | 4. 7時間以上 |

**異世代交流についてうかがいます。**

問26 下記の異世代交流のことについて、最近1年間、どのくらいありましたか。(それぞれ、1つに○)

異世代交流	機会		
年下の子どもと遊んだこと	何度もあった	少しあった	なかった
年下の子どもに勉強やスポーツを教えたこと	何度もあった	少しあった	なかった
高齢者と話す機会	何度もあった	少しあった	なかった
福祉施設や老人会などに出かけて高齢者と話す機会	何度もあった	少しあった	なかった
高齢者を介護した経験	何度もあった	少しあった	なかった
障がいのある人や困っている人を手助けしたこと	何度もあった	少しあった	なかった
地域のお祭りや行事に参加したこと	何度もあった	少しあった	なかった
地域の清掃活動に参加したこと	何度もあった	少しあった	なかった
地域のリサイクル活動に参加したこと	何度もあった	少しあった	なかった
募金活動をしたこと	何度もあった	少しあった	なかった

問27 乳幼児と関わる機会をもちたいと思いますか(1つに○)

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. ぜひもちたい         | 2. できたら、もちたい   |
| 3. どちらかという、もちたくない | 4. まったく、もちたくない |

問28 高齢者と関わる機会をもちたいと思いますか。(1つに○)

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. ぜひもちたい         | 2. できたら、もちたい   |
| 3. どちらかという、もちたくない | 4. まったく、もちたくない |

問29 あなたは次のような活動に対する体験の機会があれば、参加したいですか。(それぞれ、1つに○)

体験活動	参加意向		
	ぜひ参加したい	参加したい	参加したくない
ボランティア活動	ぜひ参加したい	参加したい	参加したくない
農林水産業等の体験活動 ※	ぜひ参加したい	参加したい	参加したくない
商店や企業等の職業体験活動	ぜひ参加したい	参加したい	参加したくない
芸術・文化体験活動	ぜひ参加したい	参加したい	参加したくない
科学技術体験活動 ※	ぜひ参加したい	参加したい	参加したくない
国際交流体験活動	ぜひ参加したい	参加したい	参加したくない
乳幼児との交流体験活動	ぜひ参加したい	参加したい	参加したくない
高齢者との交流体験活動	ぜひ参加したい	参加したい	参加したくない

※ 農林水産業等の体験活動・・・農林業体験キャンプ、農業体験型修学旅行、市場見学、インターンシップなど

※ 科学技術体験活動・・・科学館等での体験教室、科学技術体験スクール、サイエンスキャンプなど

**将来のことについてうかがいます。**

問30 将来、つきたい職業はありますか。(1つに○)

- |       |             |       |
|-------|-------------|-------|
| 1. ある | 2. ぼんやりだがある | 3. ない |
|-------|-------------|-------|

問31 夢を持っていますか。(1つに○)

- |          |                |             |
|----------|----------------|-------------|
| 1. 持っている | 2. ぼんやりだが持っている | 3. まだ持っていない |
|----------|----------------|-------------|

問32 進学について決めていますか。(1つに○)

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| 1. 進学を希望する     | 2. ぼんやりだが進学を希望する     |
| 3. まだ決めていない    | 4. ぼんやりだが進学しないと決めている |
| 5. 進学しないと決めている |                      |

問33 将来に不安を感じていますか(1つに○)。

- |                |                |                 |
|----------------|----------------|-----------------|
| 1. 感じている →問34へ | 2. わからない →問35へ | 3. 感じていない →問35へ |
|----------------|----------------|-----------------|





かわさきしこ けんり かん じつたい いしきちょうさ  
**川崎市子どもの権利に関する実態・意識調査**  
 子ども（11～17歳）用

～ アンケートにご協力をお願い～

- お送りしたあて名のご本人がお答えください。
- 質問に対して、あてはまるものに○（まる）をつけてください。
- 答えられる範囲でかまいません。
- 鉛筆かボールペンで書いてください。
- 答え終わりましたら、いっしょにお送りした返信用封筒に入れて、送り返してください。  
 （返信用封筒には切手をはる必要はありません）
- 平成29(2017)年4月30日までにポストに入れてください。

※ このアンケートは、川崎市にお住まいの方の中から、コンピュータで3,000人を選んでお送りしています。

※ あなたの答えた内容が、他の人に知られることはありません。

＜ このアンケートをごらんになった保護者の方へ ＞

無記名のアンケートであり、個人が特定されることはありません。お子様やご家族にご迷惑がかかることのないよう、十分配慮いたします。お情報が届いていることや考えていることを自由に書くようお願いいたします。

★パソコンやスマートフォンから答えることもできます★

[https://so.city.kawasaki.jp/multiform/multiform.php?form\\_id=1874](https://so.city.kawasaki.jp/multiform/multiform.php?form_id=1874)

※二重で回答しないように、パソコンやスマートフォンから答えた

ときは、この調査票は捨ててください。



うもえはこから



【お問合せ先】

川崎市子ども未来局 青少年支援室 子どもの権利担当

電話 044-200-2344 Fax 044-200-3931

E-mail : 45sien@city.kawasaki.jp

最初に「あなた自身のこと」についておききます。

F-1 あなたの年齢をおしえてください。（平成29(2017)年3月1日での年齢を聞いてください）

- 1 11歳 2 12歳 3 13歳 4 14歳 5 15歳 6 16歳 7 17歳

F-2 あなたは平日（月曜日から金曜日まで）おもに何をしていますか。

- 1 学校に行っている 2 学校以外のところでごくしている 3 働いている

F-3 あなたの住んでいるところをおしえてください。

- 1 川崎区 2 幸区 3 中原区 4 高津区 5 宮前区 6 多摩区 7 麻生区

F-4 あなたは、川崎市に住んで、どのくらいになりますか。

- 1 1年未満 2 1～5年 3 6～10年 4 11年以上

F-5 あなたは、誰と暮らしていますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 父 2 母 3 祖父 4 祖母 5 兄弟姉妹  
 6 おじ 7 おば 8 その他（ ）

I 平成12(2000)年12月につくられた「川崎市子どもの権利条例」についておききます。

Q1-1 川崎市子どもの権利条例を知っていますか。

- 1 知っている 2 聞いたことがあるが内容はよくわからない 3 知らない ⇒ Q2へ

Q1-2 川崎市子どもの権利条例をふだんどのような方法で見たり聞いたりしますか。

（あてはまるものすべてに○）

- 1 学校の先生の話 4 学校で配布されたパンフレット 8 新聞、テレビなど  
 2 施設の先生の話 5 川崎市ホームページ 9 その他  
 3 親や友だちの話 6 ポスター  
 7 ちらし

（具体的に：

Q2 次の川崎市のしくみで知っているものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 かわさき子どもの権利の日 3 川崎市人権オンブズパーソン 5 子どもの権利に関する行動計画  
 2 川崎市子ども会議 4 川崎市子どもの権利委員会 6 一つも知らない

II 『あなたの生活』についておききます。

Q3 あなたは、おとな(親、先生など)から次のことをされることがありますか。答えられる範囲で教えてください。

3-1 たたかれたり、なぐられたりする	1 あてはまる 2 だいたいあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない
3-2 心を傷つけられる言葉をいわれる	1 あてはまる 2 だいたいあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない
3-3 性的にいやなことをされたり、させられたりする	1 あてはまる 2 だいたいあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない
3-4 世話をしてもらえなかったり無視されたりする	1 あてはまる 2 だいたいあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない

Q4 あなたは、友だちや先輩、後輩から、次のことをされることがありますか。答えられる範囲で教えてください。

4-1 無視される	1 あてはまる 2 だいたいあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない
4-2 お金を要求される	1 あてはまる 2 だいたいあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない
4-3 悪口を言われる。またはインターネットに悪口を書き込まれる	1 あてはまる 2 だいたいあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない
4-4 暴力をふるわれる	1 あてはまる 2 だいたいあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない

Q5 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 学校の勉強・宿題	9 兄弟姉妹との関係	16 受験・進路
2 学校の規則	10 祖父母との関係	17 性のこと
3 クラブ活動・部活動	11 先生との関係	18 自分の身体のこと
4 児童会・生徒会活動	12 友だちや先輩との関係	19 家のお金のこと
5 塾の勉強・宿題	13 アルバイト・仕事先の人間関係	20 その他
6 おけいこ・習いごと	14 彼氏・彼女との関係	具体的に： 21 疲れること、不安なことはない
7 住んでいる地域のスポーツ活動	15 Facebook, Twitter, LINE, InstagramなどSNS上の人間関係	
8 親・保護者との関係		



Q6 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいますか。

- 1 いる 2 いない

III 『相談するところ』についておききます。

Q7 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思いますか。

- 1 したいと思う  
2 したいけどできない(理由: )  
3 したいと思わない(理由: )

Q8 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- |         |                           |   |
|---------|---------------------------|---|
| 1 親     | 7 今の学校の先生                 | 13 スクールカウンセラー                                   |
| 2 友だちの親 | 8 今の学校の保健室の先生             | 14 Facebook, Twitter, LINE, InstagramなどSNS上の友だち |
| 3 兄弟姉妹  | 9 今の学校のクラブ・部活動の先生         | 15 その他  |
| 4 祖父母   | 10 卒業した学校の先生              | 具体的に：<br>12 ゆうゆう広場・相談学級の先生                      |
| 5 友だち   | 11 習いごとの先生、スポーツクラブの監督・コーチ |   |
| 6 先輩    |                           |   |

Q9 次のような川崎市の子どもの相談を受けるところを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                    |                 |
|------------------|--------------------|-----------------|
| 1 児童相談所          | 7 教育委員会の教育相談室      | 12 川崎いのちの電話     |
| 2 児童・青少年電話相談     | 8 電話相談ホットライン(体罰など) | 13 かわさきチャイルドライン |
| 3 児童虐待防止センター     | 9 インターネット問題相談窓口    | 14 子どもの人権110番   |
| 4 スクールカウンセラー     | 10 やまびこ相談          | 15 神奈川県弁護士会     |
| 5 総合教育センター       | 11 子どもあしんダイヤル      | 子どもの人権相談        |
| 6 24時間子どもSOS電話相談 | (人権オンブズパーソン)       | 16 知っているものはない   |



Q10 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、どこかに相談したいと思いますか。

- 1 したいと思う  
2 したいけどできない(理由: )  
3 したいと思わない(理由: )

Q11 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、どこに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 児童相談所	8 インターネット問題相談窓口	14 神奈川県弁護士会
2 児童・青少年電話相談	9 やまびこ相談	子どもの人権相談
3 児童虐待防止センター	10 子どもあんしんダイヤル	15 インターネット掲示板
4 総合教育センター	(人権オンブズパーソン)	16 その他
5 24時間子供SOS電話相談	11 川崎いのちの電話	具体的に
6 教育委員会の教育相談室	12 かわさきチャイルドライン	
7 電話相談ホットライン体罰など	13 子どもの人権110番	

Q12 あなたは、どのようなところなら相談しようと思いますか。自由に書いてください。

.....

.....

.....

IV 『あせらの野のこ』についておきします。

Q13 あなたは、学校の行事や話し合いに参加していますか。

1 参加している    2 ときどき参加している    3 あまり参加していない    4 参加していない

Q14 学校で何かを決めるとき、先生は、子どもの意見を聞いていますか。

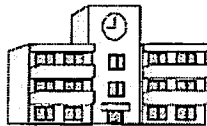
1 聞いている    2 ときどき聞いている    3 あまり聞いていない    4 聞いていない

Q15 学校にはあなたの話をよく聞いてくれる先生がいますか。

1 いる    2 いない

Q16 あなたは、学校に何でも話せる友だちがいますか。

1 いる    2 いない



Q17 あなたは、学校の勉強がよくわかりますか。

1 わかる    2 だいたいわかる    3 あまりわからない    4 わからない

Q18 あなたは、学校で休み時間や放課後、安心してすごせますか。

1 すごせる    2 ときどきすごせる    3 あまりすごせない    4 すごせない

Q19 あなたは、放課後どこですごしますか。(あてはまるものすべてに○)

1 自分の部屋	10 習いごとの教室・スポーツクラブ
2 リビング・居間	11 地域の図書館・市民館
3 祖父母の家	12 子ども文化センター・わくわくプラザ
4 友だちの家	13 子ども夢パーク・公園
5 学童保育の場所	14 アルバイト先・仕事場
6 クラブ活動の場所	15 ゲームセンター・カラオケボックス・ネットカフェ・マンガ喫茶・ファストフード店・ファミレス・コンビニ
7 学校図書館	16 その他(具体的に: )
8 教室	
9 塾	



Q20 あなたは、地域の活動・イベント・ボランティア等に参加したことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 子ども夢パーク・子ども文化センター・わくわくプラザの活動・イベント	6 ボランティア活動(町内会の清掃ボランティアなど)
2 「地域の寺子屋」の体験活動	7 ボーイスカウト・ガールスカウト
3 地域のスポーツ活動・文化活動	8 その他
4 子ども会活動(ジュニアリーダーなど)	具体的に:
5 地域のお祭り(みこし、機織店の手伝いなど)	

Q21 地域で何かを決めるとき、おとなは、子どもの意見を聞いていますか。

1 聞いている    2 ときどき聞いている    3 あまり聞いていない    4 聞いていない

Q22 あなたは、次のような場で、話し合ったり意見を言ったりしたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 川崎市子ども会議、行政区・中学校区子ども会議の話し合い	4 子ども会の話し合い
2 子ども夢パーク・子ども文化センター・わくわくプラザの話し合い	5 その他
3 学校教育推進会議、生徒会・児童会の話し合い	具体的に:

Q23 地域(学校以外)に、一緒に遊んだり話したりする友だちがいますか。

1 いる    2 いない

Q24 地域に、遊んだりスポーツをしたり安心して自分が好きなことをする場所がありますか。

1 ある    2 ない



Q25 あなたは、家で話を聞いてもらえますか。

- 1 聞いてもらえる 2 ときどき聞いてもらえる 3 あまり聞いてもらえない 4 聞いてもらえない

Q26 家で何かを決めるとき、おとなにあなたの意見を聞いてもらえますか。

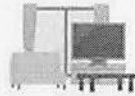
- 1 聞いてもらえる 2 ときどき聞いてもらえる 3 あまり聞いてもらえない 4 聞いてもらえない

Q27 あなたには、遊んだり休んだり自分の好きなことをする時間が十分にありますか。

- 1 ある 2 ときどきある 3 あまりない 4 ない

Q28 あなたにとってホッとする場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

- |            |  |
|------------|--|
| 1 自分の部屋    | 12 習いごとの教室・スポーツクラブ                                   |
| 2 リビング・居間  | 13 地域の図書館・市民館  |
| 3 お風呂      | 14 子ども文化センター・わくわくプラザ                                 |
| 4 トイレ      | 15 子ども夢パーク・公園  |
| 5 祖母の家     | 16 アルバイト先・仕事場  |
| 6 友だちの家    | 17 ゲームセンター・カラオケボックス・ネットカフェ・マンガ喫茶・ファストフード店・ファミレス・コンビニ |
| 7 学童保育の場所  | 18 その他   |
| 8 クラブ活動の場所 | 具体的に：  |
| 9 学校図書館    |  |
| 10 教室      |  |
| 11 塾       | 19 特になし  |



Q29 あなたは、生活のなかで文化・国籍などのちがいが、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。

- 1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない

V 『あなたの思い』についておききます。

Q30 あなたは、自分が好きですか。

- 1 好き 2 だいたい好き 3 あまり好きではない 4 好きではない

Q31 あなたは、自分は親や周りのおとなから大切にされていると感じますか。

- 1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない

Q32 あなたは、自分は友だちにとって大切だと思いますか。

- 1 そう思う 2 だいたいそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない

Q33 あなたは、毎日が楽しいですか。

- 1 楽しい 2 だいたい楽しい 3 あまり楽しくない 4 楽しくない

Q34 あなたは、次のことがあてはまりますか。答えられる範囲で答えてください。

34-1 誰も助けてくれないと思う	1 あてはまる 2 だいたいあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない
34-2 つらくて死にたいと思う / 消えたいと思う	1 あてはまる 2 だいたいあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない

Q35 次の子どもの権利のなかで、自分にとってもっとも大切だと思うものは何ですか。

(あてはまるもの2つに○)

1 安心して生きる権利	いじめやいじめられ、いじめられたいしないで、安心して生活できる
2 ありのままの自分でいる権利	他の人との違いや個性が大切にされ、秘密が守られる
3 自分を守り、守られる権利	心や体を傷つけられないように助け、助けてもらうために相談できる
4 自分を豊かにし、カづけられる権利	遊んだり学んだり活動したりすることができる
5 自分で決める権利	自分のことを自分で決めたり、決めるときにおとなに助けてもらえる
6 参加する権利	自分の意見を言ったり、社会で活動したりできる
7 個別の必要に応じて支援を受ける権利	国の違いや障がいなどで差別されず受けられる

さいごに

子どもが安心して、自分らしく生き、社会に参加しながら成長していけるには、どんなことが大切だと思いますか。何でも自由に書いてください。

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

■ 調査対象

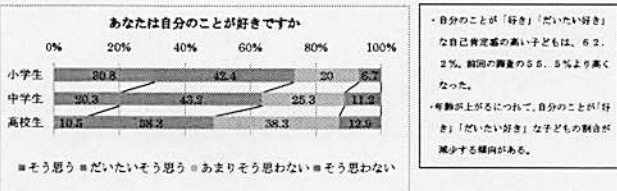
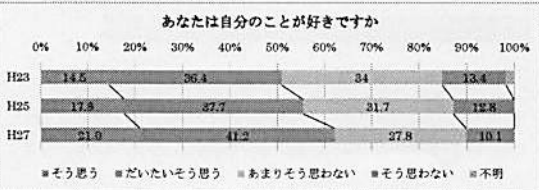
- (1) 市内の小学校30校(市立27校、国公立1校、私立1校) 5学年1クラス 743人
- (2) 市内の中学校23校(市立20校、国公立1校、私立2校) 2学年1クラス 512人
- (3) 市内の高等学校13校(県立7校、私立6校) 1、2学年のそれぞれ1クラス 893人
- (4) (1)から(3)の児童・生徒(2,148人)の保護者

■ 子どもの権利アンケートの調査結果

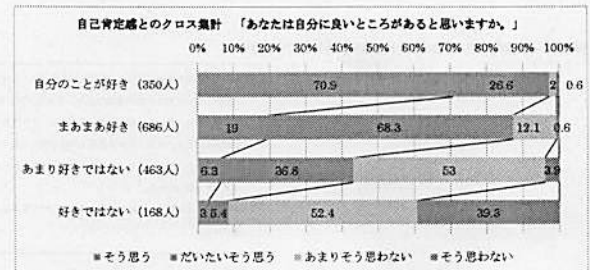
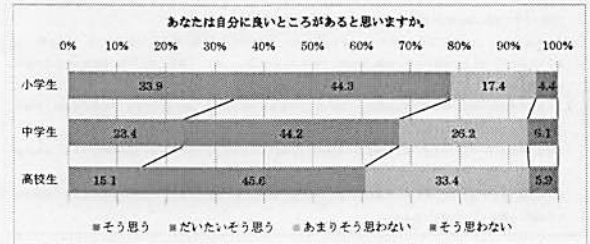
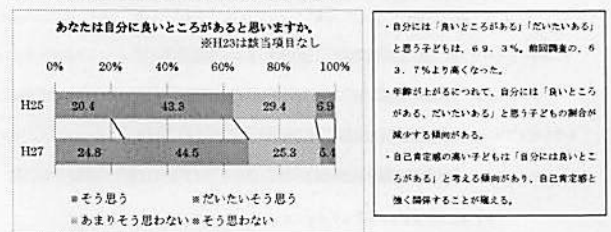
学年	回答人数	回収率	男	女	性別無回答	市内在住	市外在住	居住地無回答
小学生(5年生)	660	89%	332	325	3	650	9	1
中学生(2年生)	424	83%	208	214	2	395	27	2
高校生(1年生)	272	66%	155	110	7	151	119	2
高校生(2年生)	319		169	149	1	192	126	1
学年無回答	61	—	1	5	55	4	4	53
合計	1,736	81%	800	803	68	1392	285	59

【子どもへのアンケート】

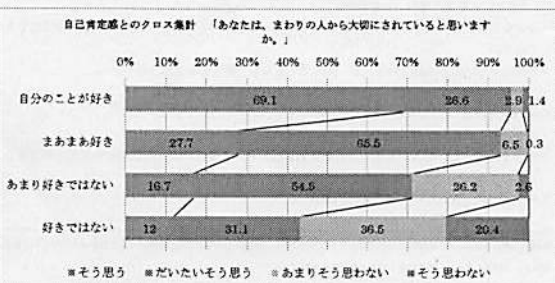
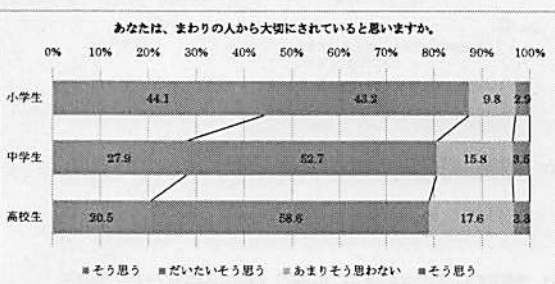
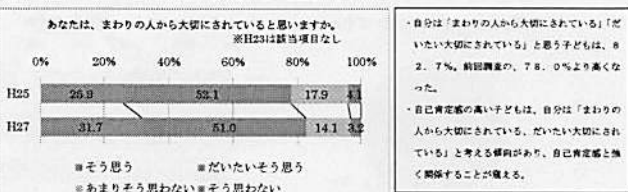
問4 あなたは、自分のことが好きですか



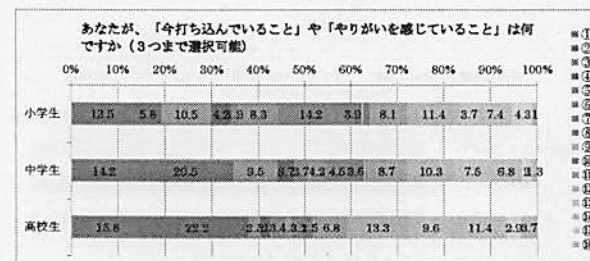
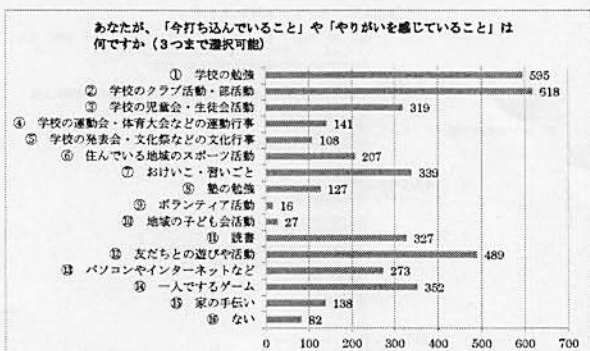
問5 あなたは、自分には良いところがあると思いますか。

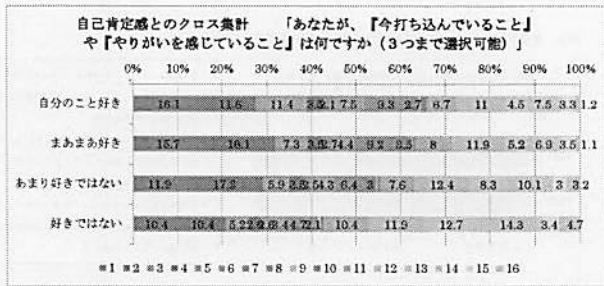


問6 あなたは、まわりの人から大切にされていると思いますか。

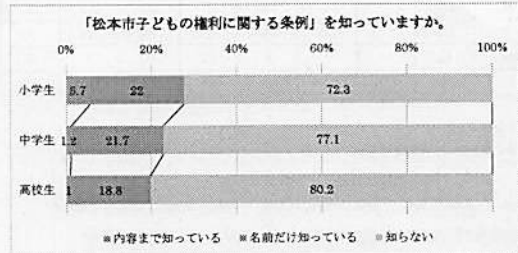
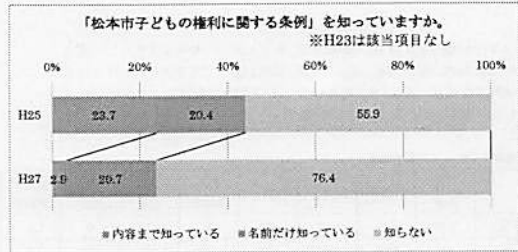


問7 あなたが、「今打ち込んでいること」や「やりがいを感じていること」は何ですか。(3つまで選択可能)

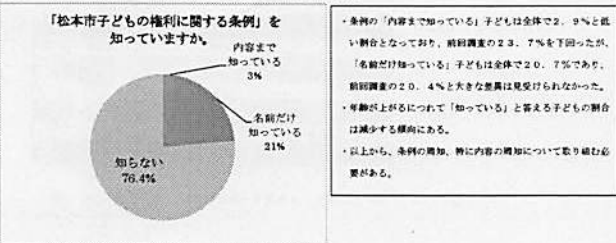




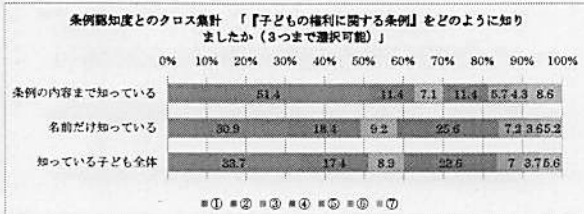
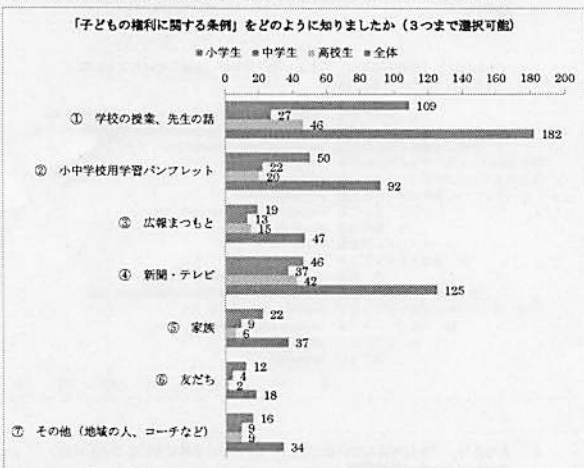
- ・「学校のクラブ活動、部活動」「学校の転勤」「文芸活動」の順に回答する子どもが多い。
- ・小学生は、「おけいこ、習いごと」の割合が14.2%と一番高く、「学校のクラブ活動、部活動」の割合は、5.8%と低い。
- ・中学生、高校生になると「学校のクラブ活動、部活動」の割合が、20%以上に増え、一番高くなるのは、部活動が本格化するためと推察される。
- ・小学生、中学生は「学校の児童会・生徒会活動」の割合が10%前後を占めているが、高校生になると、「学校の児童会・生徒会活動」の割合は2.5%と低くなる。
- ・小学生、中学生は「一人でするゲーム」の割合が7%前後だが、高校生になると、「一人でするゲーム」の割合が11.4%と高くなる。
- ・自己肯定感の低い子どもほど、やりがいを感じていることは「ない」と答える割合が高く、やりがいを感じることの有無が自己肯定感にも関係している様子が窺える。



問8 「松本市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。

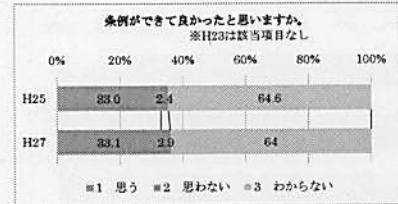
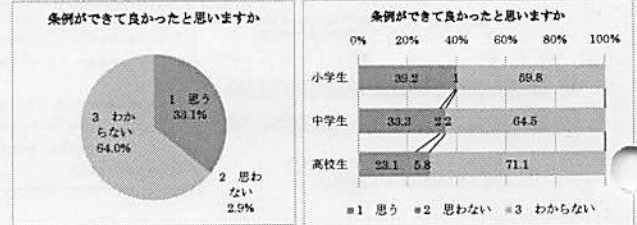


問9 子どもの権利に関する条例をどのような方法で知りましたか。(3つまで選択可能)



- ・条例について知った方法は、「学校の授業、先生の話」「新聞・テレビ」「小中学校用学習パンフレット」の順に多く、小学生の多くは、「学校の授業、先生の話」で条例について知ったと回答している。
- ・条例の「内容まで知っている」と答えた子どもの半数以上が、「学校の授業、先生の話」により知ったと回答しており、次いで「小中学校用学習パンフレット」と回答する割合が大きいことから、条例の内容については、学校での知る機会が重要である。
- ・以上により、学校が子どもたちへの条例認知の鍵となっていることから、学校で取組んでもらう機会確保や、学校で取組んでもらうにあたって、子どもたちにも分かりやすい認知パンフレットの作成を進めることが有用である。

問10 条例ができて良かったと思いますか。



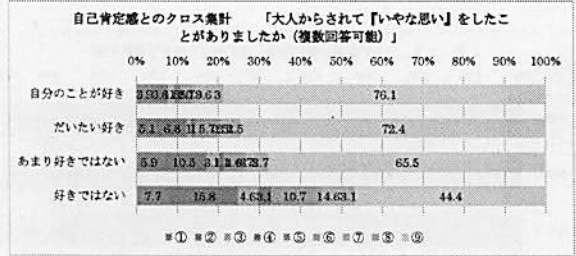
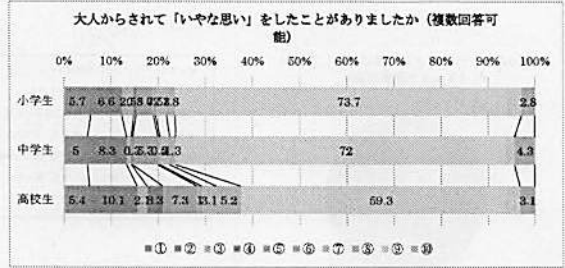
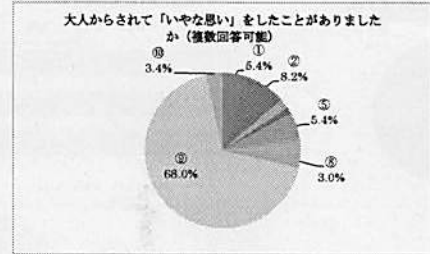
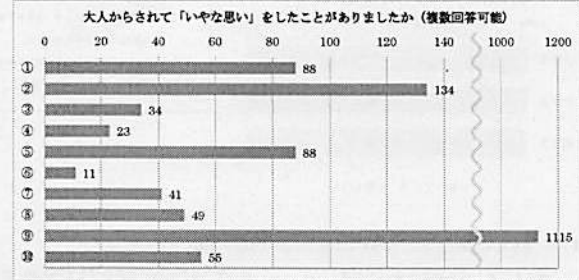
問11 条例ができて良かったと「思う」「思わない」と答えた理由は何ですか。(自由記述)

- 「思う」と答えた理由(一部抜粋)
  - ・子どもも社会の一員として、権利がちゃんとあってほしいから。松本だけでなく、全国でもあってほしい。
  - ・学校などでいじめられている人が、少しでも安心して暮らせると思うから。
  - ・子どもの権利が増え、たくさんの事に打ち込めるようになったこと。
- 「思わない」と答えた理由(一部抜粋)
  - ・自分たちに影響がなさそうだから。
  - ・内容まで知っている人があまりにも少なすぎる、もっと多くの人が内容まで知ることができるようにしてほしい。
  - ・条例の内容を知らないで、良いとは思わない。

- ・条例が「できて良かった」と回答する子どもは33%なのに対し、半数以上の子どもは、条例ができて良かったかどうか「わからない」と回答しており、前回調査との大きな差異は見受けられなかった。
- ・年齢が上がるにつれて、条例が「できて良かった」と回答する子どもの割合は減少している。

問12 あなたは、これまで大人から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありますか (複数回答可能)

- ① 親 (保護者) から、たたかれる、なぐられる
- ② 親 (保護者) から、心を傷つけられる言葉を言われる
- ③ 親 (保護者) から、自分をばったらかにされる
- ④ 学校や施設 (児童館・児童センターなど) の先生や職員から、たたかれる、なぐられる
- ⑤ 学校や施設 (児童館・児童センターなど) の先生や職員から、心を傷つけられる言葉を言われる
- ⑥ 塾や習いごとの先生、スポーツクラブの監督などから、たたかれる、なぐられる
- ⑦ 塾や習いごとの先生、スポーツクラブの監督などから、心を傷つけられる言葉を言われる
- ⑧ 知らない大人に、声をかけられる、追いかけられる
- ⑨ ない
- ⑩ その他 (具体的に記述)

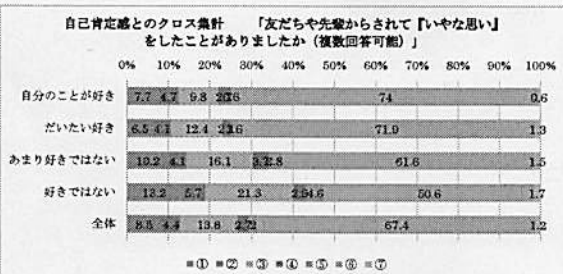
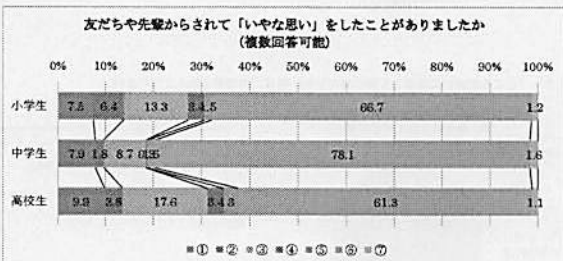
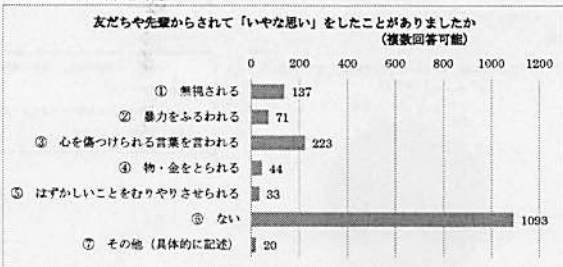


「⑩その他」を選んだ子どもの記述内容 (一部抜粋)

- ・若者や高齢者 (一部) が公共交通機関を使う際のマナーが悪い。
- ・電車で下校している途中、男性に話しかけられ、少し怖かった。
- ・自分の意見や考えが無視された時
- ・自分の将来の夢を簡単な事だと教師に馬鹿にされた。
- ・バイト先の大人の方の陰の悪口
- ・親にけられる。

- ・大人からされて「いやな思い」をしたことについて、「⑨ ない」「② 親 (保護者) から、心を傷つけられる言葉を言われる」「⑤ 学校や施設 (児童館・児童センターなど) の先生や職員から、心を傷つけられる言葉を言われる」の順に回答数が多くなっている。
- ・大人から「いやな思い」をしたことがない子どもは、全体で6.8.1%で、最も多くなっている。
- ・年齢が上がるほど、大人からされて「いやな思い」をしたことが「⑨ ない」と答える割合が減り、なんらかのかたちで「いやな思い」をしたことがあるとお答える割合が多くなる。
- ・自己肯定感の低い子どもほど、大人からされて「いやな思い」をしたことがあると答える割合が多くなり、なんらかのかたちで「いやな思い」をしたことがある子どもの割合が多くなる。

問13 あなたは、これまで友だちや先輩から次のようなことをされて「いやな思い」をしたことがありますか。(複数回答可能)

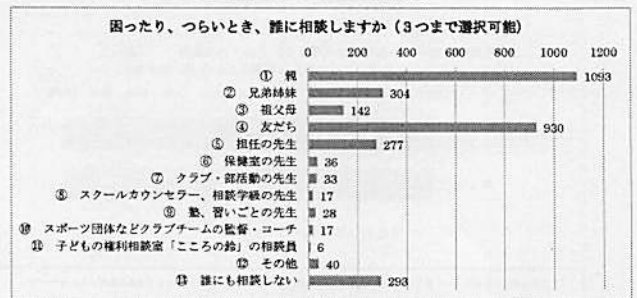


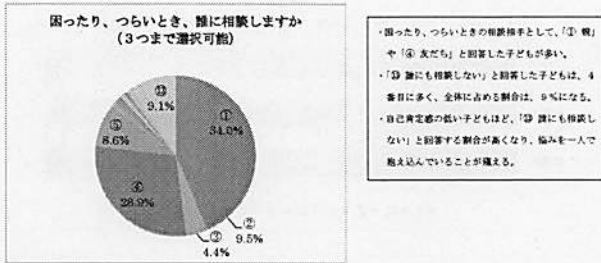
「⑦ その他」を選んだ子どもの記述内容 (一部抜粋)

- ・ひとりが多くて寂しい。
- ・友達に物を隠されて、そのままなくされた。
- ・友だちで変なウワサを流されたり、悪口を言われたり
- ・先輩気取り、偉そうで命令口調

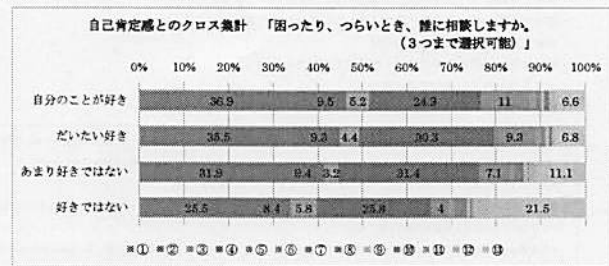
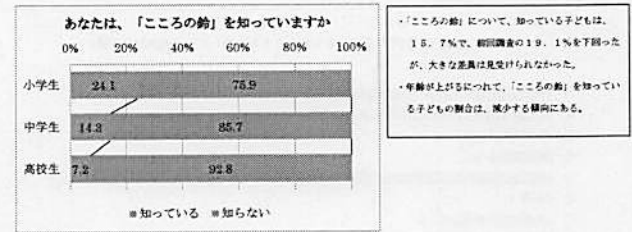
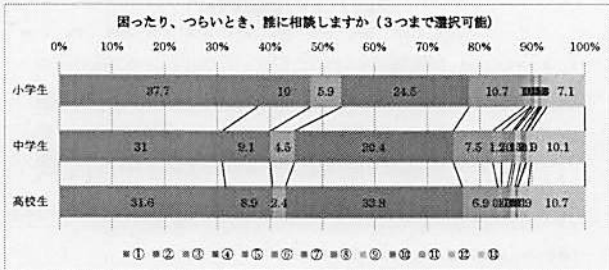
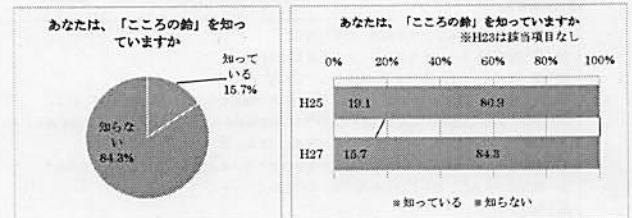
- ・友だちや先輩からされて「いやな思い」をしたことについて、「⑥ ない」「① 友だちや先輩などから、心を傷つけられる言葉を言われる」「⑦ 友だちや先輩などから、無視される」の順に回答数が多くなっている。
- ・前期の「大人」からされたいやなことと比べ、「友だちや先輩」といった子どもたちにとって年齢の近い存在から「いやな思い」をしたと回答する子どもは多い。
- ・友だちや先輩からされて「いやな思い」をしたことについては、自己肯定感の高低に関わらず、「③ 友だちや先輩などから、心を傷つけられる言葉を言われる」と回答する子どもの占める割合が多くなっている。
- ・自己肯定感の低い子どもほど、友だちや先輩からされて「いやな思い」をしたことがあると答える割合が多くなり、なんらかのかたちで「いやな思い」をしたことがある子どもの割合が多くなる。

問14 困ったり、つらいとき、誰に相談しますか。(3つまで選択可能)

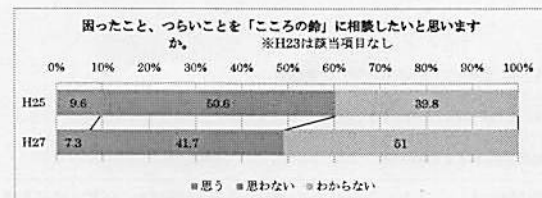
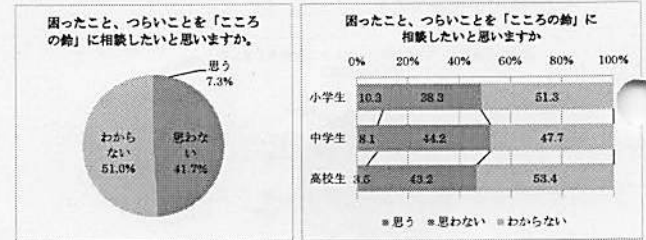




問15 あなたは、「こころの鈴」を知っていますか。

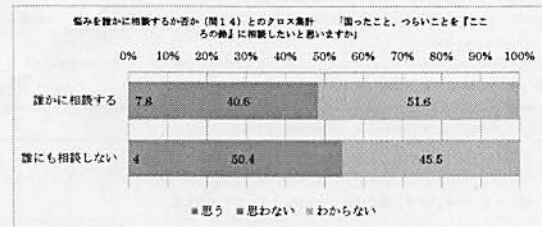
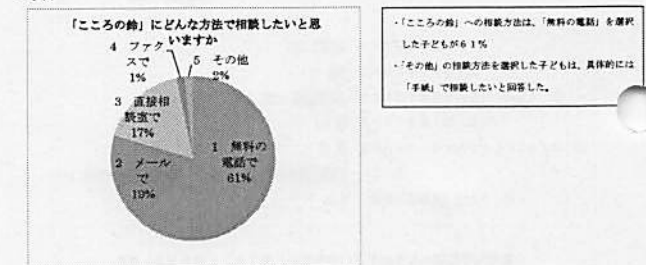


問16 あなたは、困ったこと、つらいことを「こころの鈴」に相談したいと思いますか。

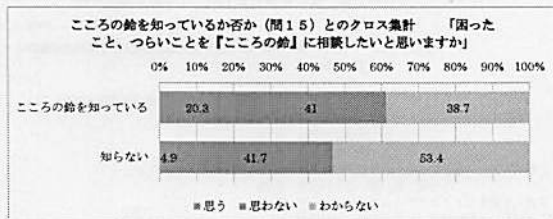
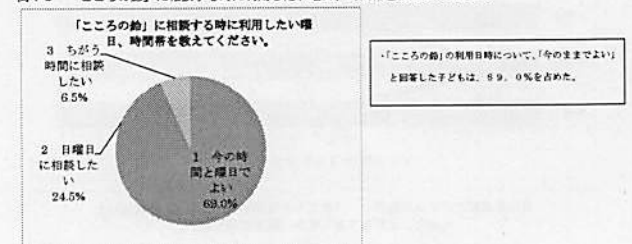


問17 「こころの鈴」にどんな方法で相談したいと思いますか。

「5 その他」を選んだ子どもの記述内容  
・手紙



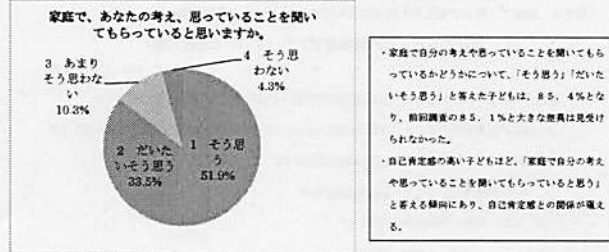
問18 「こころの鈴」に相談する時に利用したい曜日、時間帯を教えてください。



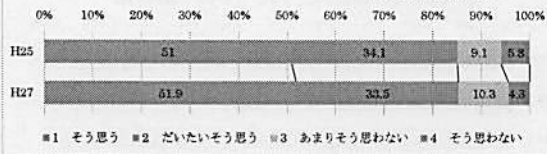
・「こころの鈴」に相談したいと思う子どもは、7%で、前調査の9.6%を下回ったが、大きな差は見受けられなかった。  
・相談したいと「思わない」子どもの割合が減り、「わからない」と答える子どもの割合が増加した。  
・年齢が上がるにつれて、「こころの鈴」に相談したいと思う子どもの割合は減少する傾向にある。  
・自己肯定感が低い子どもほど悩みを一人で抱え込む傾向にあること (問14)、悩みを相談する子どもは、親や友だちなど身近な存在に相談すること (問14)、こころの鈴の認知度が低いこと (問15)、こころの鈴に相談したいと思う子どもが少ないこと (問16) から、子どもにとって相談しやすい身近な存在として、こころの鈴の一層の周知に努めることが、自己肯定感を高めるにあたって有用である。  
・悩みを誰にも相談しないと答えた子どもであっても、そのうち4%は、こころの鈴に相談したいと思っている。  
・こころの鈴を知らない子どものうち、4.9%は、こころの鈴に相談したいと思っている。



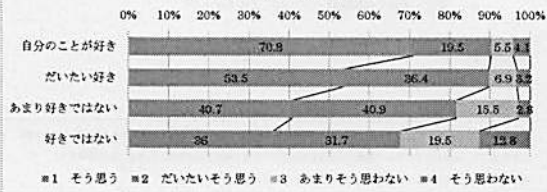
問19 家庭で、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。



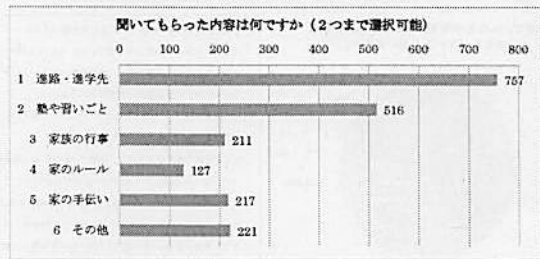
家庭で、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。  
※H23は該当項目なし



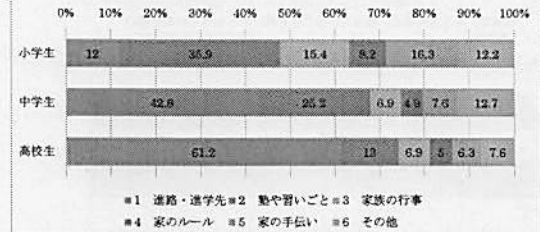
自己肯定感とのクロス集計 「家庭で、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。」



問20 家庭で、聞いてもらった内容は何か。(2つまで選択可能)

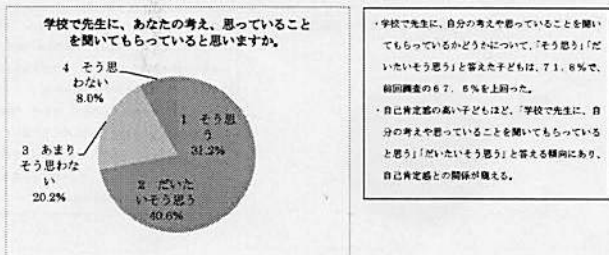


聞いてもらった内容は何か。(2つまで選択可能)

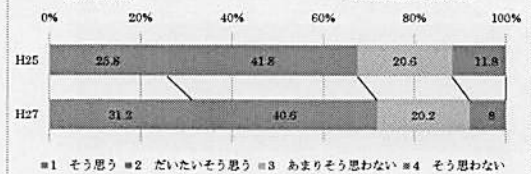


・家庭で聞いてもらったことは、「1 進路・進学先」のことが多く、「2 塾や習いごと」のことが多い。  
・「その他」を選んだ子どもの多くは、「学校での出来事」等、学校生活に関することと記述回答している。  
・小学生が家庭で聞いてもらったことは、「2 塾や習いごと」「1 進路・進学先」の割合が多いが、中学生になると「1 進路・進学先」「2 塾や習いごと」の割合となる。  
・高校生になると、「1 進路・進学先」の割合が半数以上を占める。

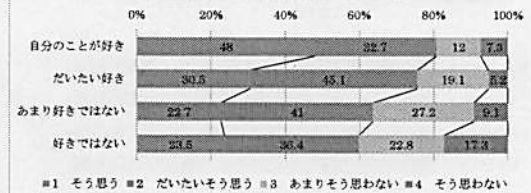
問21 学校で先生に、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。



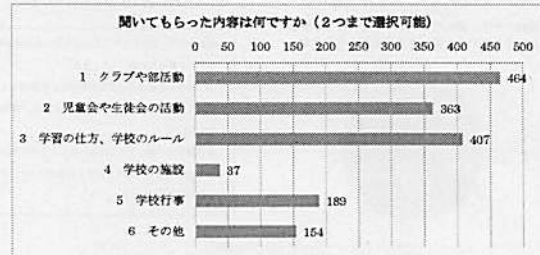
学校で先生に、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。  
※H23は該当項目なし



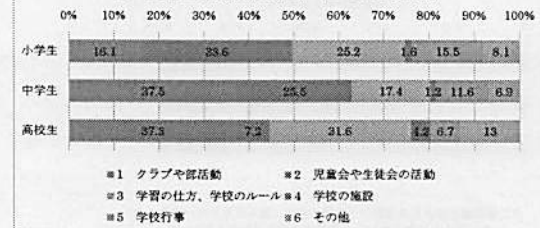
自己肯定感とのクロス集計 「学校で先生に、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。」



問22 学校で先生に、聞いてもらった内容は何か。(2つまで選択可能)



聞いてもらった内容は何か。(2つまで選択可能)

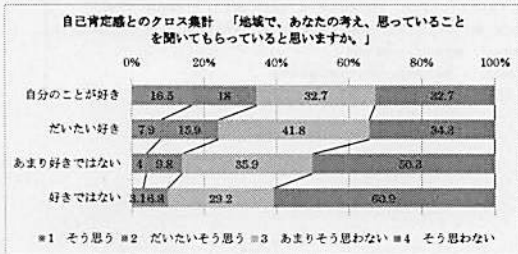
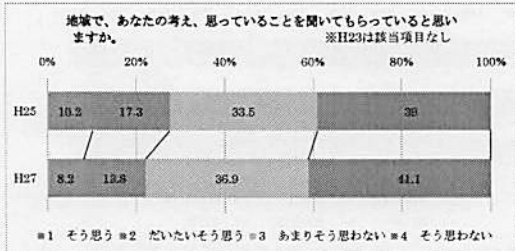
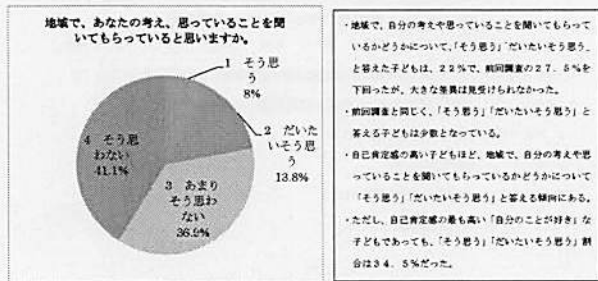


「6 その他」を選んだ子どもの記述内容（一部抜粋）

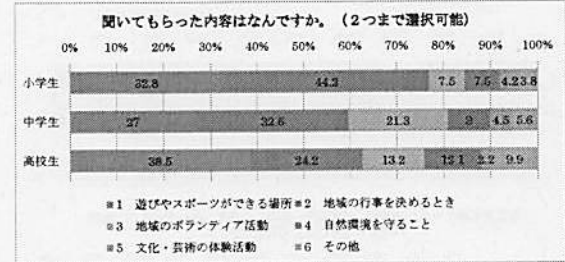
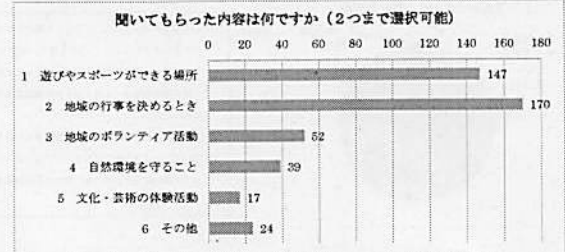
- ・遊路や成績について
- ・授業や勉強のこと
- ・友達のこと

・学校で先生に聞いてもらったことは、「1 クラブや部活動」のことが多く、「2 児童会や生徒会の活動」のことが多く、「3 学習の仕方、学校のルール」のことが多い。  
・「その他」を選んだ子どもの多くは、「遊路や成績」「授業」「勉強」等、授業や勉強に関することと回答している。  
・小学生が学校で聞いてもらったことは、「2 児童会や生徒会の活動」が最も多い。  
・中学生になると「1 クラブや部活動」が最も多くなるが、部活動が本格化することが理由と推察される。  
・高校生になると、「3 学習の仕方、学校のルール」と回答する子どもが多くなる。

問23 地域で、あなたの考え、思っていることを聞いてもらっていると思いますか。



問24 地域で、聞いてもらった内容はなんですか。(2つまで選択可能)

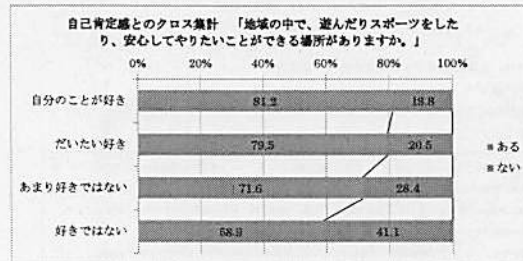
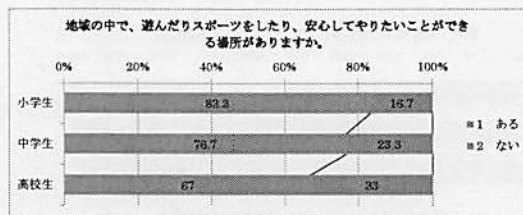
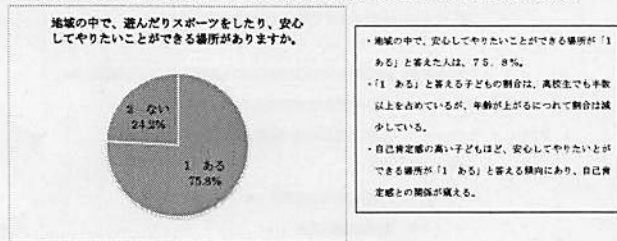


「6 その他」を選んだ子どもの記述内容（一部抜粋）

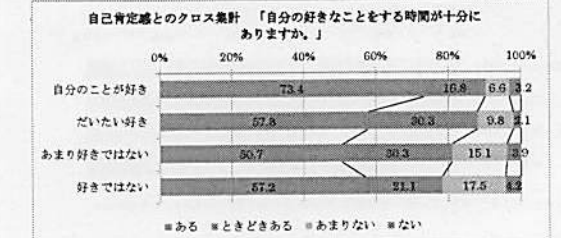
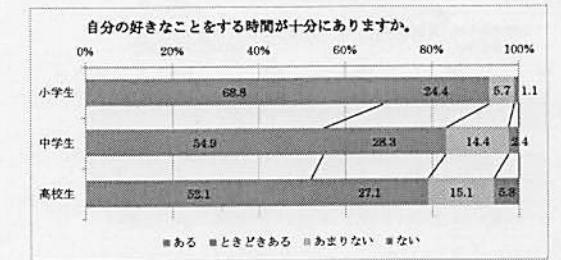
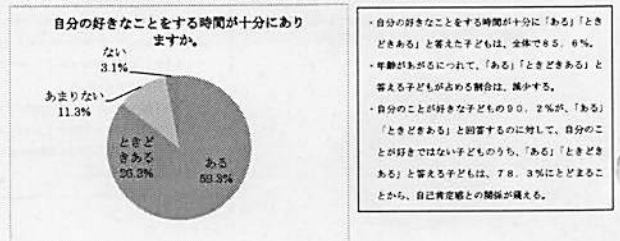
- ・学校のこと
- ・相談事
- ・地域活動

・地域で聞いてもらったことは、「1 遊びやスポーツができる場所」のことが多く、「2 地域の行事を決めるとき」のことが多い。  
 ・小学生は、「3 地域のボランティア活動」の占める割合が7.5%と低い。中学生になると二割に増加する。  
 ・地域で聞いてもらった内容は、年齢ごとに異なることが見える。

問25 地域の中で、遊んだりスポーツをしたり、安心してやりたいことができる場所がありますか。

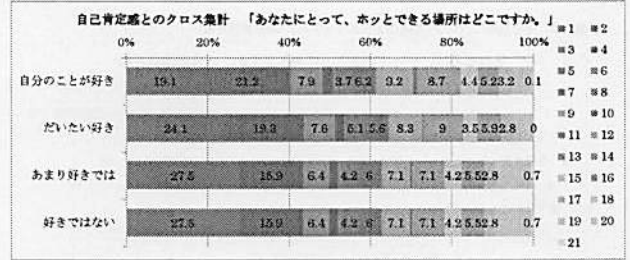
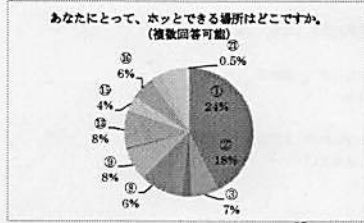
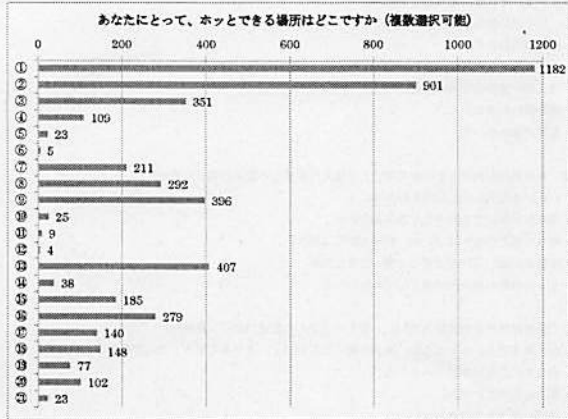


問26 あなたは、遊んだり休んだり、自分の好きなことをする時間が十分にありますか。



問27 あなたにとって、ホッとできる場所はどこですか。(複数回答可能)

- ① 自分の部屋    ② 家族と一緒に過ごす部屋    ③ 学校    ④ 保健室
- ⑤ 中間教室    ⑥ フリースクール    ⑦ クラブ活動・部活動の場所
- ⑧ 友達の家    ⑨ 祖父母や親戚の家    ⑩ 児童館・児童センター
- ⑪ 学業クラブ    ⑫ 青少年の居場所    ⑬ 図書館    ⑭ 公民館
- ⑮ 公園    ⑯ 山や川などの自然のある場所    ⑰ 塾や習いごと、スポーツの教室
- ⑱ ゲームセンター、カラオケボックス、まんが喫茶
- ⑲ コンビニエンス・ストア、ファストフード、喫茶店などのお店
- ⑳ その他    ㉑ ホッとできる場所はない

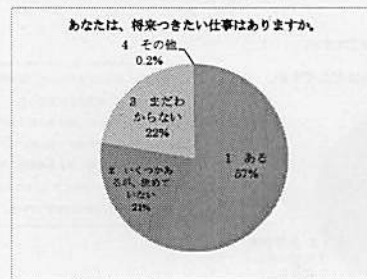


「㉑ その他」を選んだ子どもの記述内容 (一部抜粋)

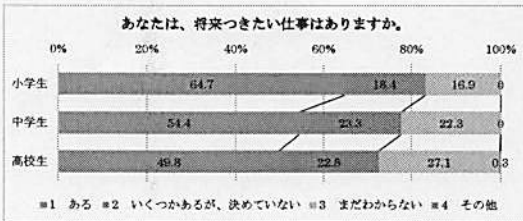
- ・トイレ
- ・ペットの前
- ・しずかな所
- ・学校の教室
- ・お風呂
- ・ふとんの中
- ・本屋

・ホッとできる場所として「① 自分の部屋」「② 家族と一緒に過ごす部屋」の順に回答する子どもが多く、家庭での居場所が子どもたちの安定にとって大切であることが見える。  
 ・「㉑ ホッとできる場所はない」と回答した子どもは、全体の0.5%にとどまった。  
 ・自己肯定感の低い子どもほど、「④ ない」と答える割合が高かったが、高くなるほか、「② 家族と過ごす部屋」と答える割合が減り、「① 自分の部屋」を好む割合が高くなっている。

問28 あなたは、将来つきたい仕事はありますか。



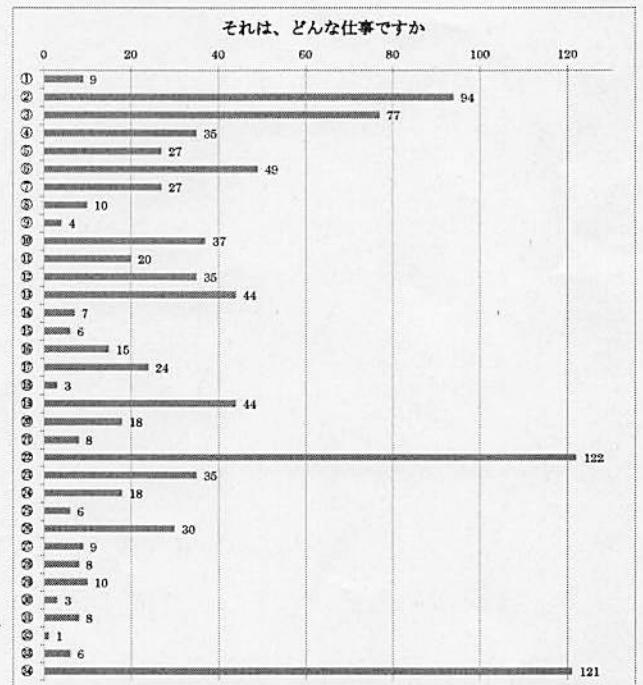
・将来つきたい仕事がある「いくつかある」と答えた子どもは、全体の78%。  
 ・年齢が上がるにつれて、「ある」と答える子どもの割合が増加する。年齢があがるにつれて、将来の仕事について現実的に考えたり、視野が広がったりすることで、選んでいる職業が見える。



「4 その他」を選んだ子どもの記述内容  
 ・ない。  
 ・できる事なら何でも。

問29 それは、どんな仕事ですか。

- ① 弁護士、裁判官、検察官    ② 医者、歯科医、薬剤師    ③ 看護師、介護福祉士
- ④ 獣医、動物飼育、ペットショップ、トリマー    ⑤ 警察官、消防士、自衛官
- ⑥ 幼稚園、保育園の先生    ⑦ 学校の先生    ⑧ 大学教授、科学者
- ⑨ パイロット、客室乗務員    ⑩ コンピュータ関係 (システムエンジニア、ソフト開発等)
- ⑪ 建築士、設計士    ⑫ コック、調理師、栄養士    ⑬ 理容師、美容師
- ⑭ 通訳、翻訳家    ⑮ 会社の社長    ⑯ 会社員
- ⑰ 公務員    ⑱ 店主など自営業者    ⑲ パン屋、ケーキ屋、花屋
- ⑳ 自動車整備士、自動車・電車などの運転士
- ㉑ 店員、販売員、ウェイター、ウェイテレス
- ㉒ スポーツ選手
- ㉓ 歌手、ミュージシャン、俳優、タレント、バンド、芸人、ダンサー
- ㉔ 画家、デザイナー、写真家    ㉕ 音楽家、作曲家
- ㉖ 作家、アニメ作家、漫画家、映画監督
- ㉗ 新聞記者、アナウンサー、キャスター、レポーター、テレビのディレクター
- ㉘ 土木・建築作業員    ㉙ 農業・林業    ㉚ 漁業
- ㉛ 職人    ㉜ 政治家 (議員、市長、県知事、総理大臣など)
- ㉝ 宇宙飛行士    ㉞ その他

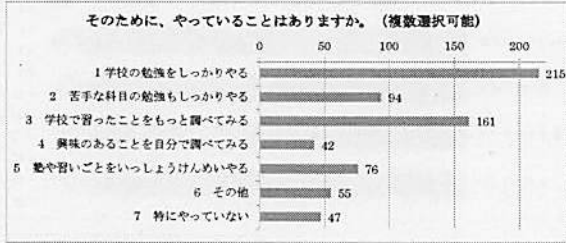


「㉞ その他」を選んだ子どもの具体的な内容 (一部抜粋)

- ・本屋さん
- ・医学療法士
- ・ゲームパークスタッフ
- ・ネイリスト
- ・楽器修理
- ・理学療法士
- ・製造業
- ・声優
- ・病児保育士

・将来つきたい仕事として「㉒ スポーツ選手」「㉔ 医者、獣科医、薬剤師」「㉓ 看護師、介護福祉士」を最も子どもの順に多かった。

問30 そのために、やっていることはありますか。(複数回答可能)

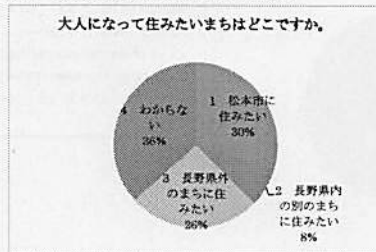


「6 その他」を選んだ子どもの記述内容 (一部抜粋)

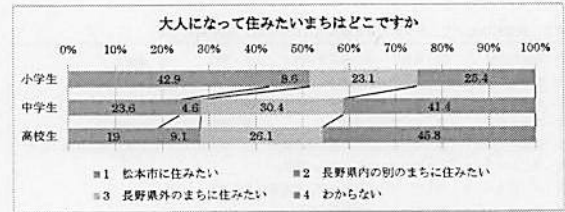
- ・たくさん練習する。
- ・できるだけ何事も本気でやる。
- ・人とたくさん触れ合う。仲良くする。
- ・やりたい仕事の店で、バイトをする。

・将来つきたい仕事につくためとして、「学校の勉強をしっかりとやる」「学校で習ったことをもっと調べてみる」と回答した子どもが多く、身近な学校の授業から理解を深めようとしている様子が窺える。

問31 大人になって住みたいまちはどこですか。



・大人になって住みたいまちとして「松本市」と答えた子どもは、全体の30%だった。  
 ・年齢が上がるにつれて、「松本市に住みたい」と答える子どもの割合が減少する。対して、「道県が分からないから」等、将来を現実的に考えたり、視野が広がったりすることで、「わからない」と回答する子どもの割合が増加している。



問31-2 それは、どうしてですか。

「1 松本市に住みたい」と答えた子どもの記述内容 (一部抜粋)

- ・松本市が好きだから。
- ・生まれ育ったまちだから。
- ・地元が一番安心できるから。
- ・住み慣れた所だから。
- ・自然が豊かだから。

「2 長野県内の別のまちに住みたい」と答えた子どもの記述内容 (一部抜粋)

- ・いろいろな所に住んでみたいから。
- ・空気がきれいで自然がたくさんあるから。
- ・県外へ出るつもりはないが、松本市からは出たい。
- ・長野県では、これまでずっと育ってきたから。
- ・もっと自然の多い所で過ごしてみたいから。

「3 長野県外のまちに住みたい」と答えた子どもの記述内容 (一部抜粋)

- ・他の県がどういうところか、あまり深く知らないし、より多くの人と会ってみたいと思ったから。
- ・自分の行きたい学校があるから。
- ・都会に住みたいから。
- ・外国へ留学したいから。
- ・長野県はつまらないから。
- ・やりたい仕事のために適した環境が県外にあるため。

「4 わからない」と答えた子どもの記述内容 (一部抜粋)

- ・まだ住みたい街が決まっていないから。
- ・自分の進路が分からないから。
- ・仕事によって、どこに住むかわからないので、まだ決めていない。
- ・もっといろいろな場所を知ってから決めたい。

## 令和元年度 青少年問題協議会 スケジュール(案)

	専門委員会	本体会議	事務局
8月	8月21日第1回開催 アンケート内容決定		
9月			アンケート準備(~上旬) アンケート配布(中旬)
10月			アンケート回収(~10月下旬)
11月			アンケート集計作業
12月			アンケート集計作業
1月	下旬)第2回開催 1次集計結果報告		1次集計(単純集計)(~中旬)
2月	下旬)第3回開催 調査結果についての議論		必要に応じた2次集計(クロス集計等)
3月		第2回開催(専門委員会より報告)	

※来年度は3~4回程度開催予定

## 傍聴感想メモ

青少年問題協議会を傍聴したご感想がございましたら、お帰りの際に事務局職員へお渡しください。(参考として、次回の会議で委員へ配布いたします。)

なお、個別のご質問にお答えするものではございませんので、ご了承ください。

令和元年度 第1回青少年問題協議会

(令和元年7月30日 開催)

アンケート案 設問5 No5→No4か?

No20 放課後の場所の選択肢 今わくにとらわれず  
自宅と友人の家は居場所としての性格が異なるの?  
分けることか 望ましいと思います。

児童館・公園・図書館の選択も分けるとそれぞれの  
利用度かわかる、と思います。

実態調査アンケートは「記念事業の一環」の範囲で  
止めるか、その他 青少年と大きくテーマとして活用  
まで広げるのか? これによつて 問いかけが

変化する

(傍聴券NO 1 )